

河川環境情報地図ガイドライン（案）

平成 12 年 1 月

建設省河川局河川環境課

目 次

I. 河川環境情報地図データ作成作業 実施要領	1
II. 河川環境情報地図データ作成作業 データファイル仕様（別記－１）	14
1. 概 要	14
2. ファイル構造	14
2.1 ファイルの種類	14
2.2 各ファイルのレコードの並び	15
3. 各レコードに記載する項目	18
3.1 レイヤー管理ファイル	18
3.2 地図データ	19
3.3 メッシュデータ	24
4. 調査項目および属性レコードの記載事項	26
4.1 調査項目	26
4.2 共通属性	30
4.3 魚介類調査の属性	33
4.4 底生動物調査の属性	33
4.5 植物調査の属性	34
4.6 鳥類調査の属性	35
4.7 両生類・爬虫類・哺乳類調査の属性	35
4.8 陸上昆虫类等調査の属性	36
4.9 河川調査の属性	37
4.10 河川空間利用実態調査の属性	37
5. ファイルのツリー構造	38
III. 河川環境情報地図データ作成作業 項目別データ取得基準細則（別記－２）	44
1. 各項目に共通する事項	44
2. 魚介類調査	49
3. 底生動物調査	51
4. 植物調査	55
5. 鳥類調査	59
6. 両生類・爬虫類・哺乳類調査	65
7. 陸上昆虫类等調査	68
8. 河川調査	71
9. 河川空間利用実態調査	72

本書の利用にあたって

本ガイドライン（案）は、「河川基盤地図データ作成のガイドライン（案） 平成 10 年 12 月 建設省河川局河川計画課」に準拠しており、一部その内容を引用している。

新たに本ガイドライン（案）において規定した箇所は、本文中における該当箇所を網掛け（ ）で示した。

I. 河川環境情報地図データ作成作業 実施要領

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この要領は、河川環境情報地図データ作成作業におけるデータの計測、構造化編集等の作業方法等を定めることにより、成果品等の規格を統一するとともに必要な精度を確保することを目的とする。

河川環境情報地図データの構成

河川基盤地図データ	基図データ	河川として標準的に整備すべき地図データ 多くの用途に利用できる基盤的データ及び必要最低限の背景図データ 「河川基盤地図データ作成のガイドライン(案) 平成10年12月 建設省河川局河川計画課」により作成する
	その他の地図データ	河川環境に関する業務ごとに発生する地図データ
	地理情報データ	標準的に利用できる既整備の地理情報

(主題データの構成と適用範囲)

第2条 河道、沿川、流域の各々に分布する河川環境情報地図で取り扱う主題データは、必要とする詳細さ(位置精度のレベル)が領域によって異なるため、次の2種類の精度で整備する。なお、河川環境情報地図は「河川基盤地図データ作成のガイドライン(案) 平成10年12月 建設省河川局河川計画課」により作成される図面を基図とすることを基本とする。ただし、河川基盤地図が作成されていない場合には、既存のラスター図等を基図として利用できるものとする。

精 度	対象範囲	対象区間	データの種類
1/2,500 レベル (詳細地図整備)	河道および沿川 200 ～500mの範囲	河川環境に関する調 査が実施される河川 区間	河川主題データ
1/25,000 レベル (概略地図整備)	流域全体	全法河川	流域主題データ

(他の規程等との関係)

第3条 河川環境情報地図データ作成作業は、基本的に空間データ基盤作成作業で作成する構造化データのフォーマットに準ずるものとする。他の規程等に特別の定めがある場合を除いて、この要領の定めるところによる

(作業内容)

第4条 河川環境情報地図データ作成作業においては、デジタルマッピング、1/2,500 河川図、その他の資料図等を計測または取得して構造化編集を行い、データファイルを作成する。

2 データファイルは、標準地域メッシュ二次メッシュ単位に作成する。対象とするデータの項目は、下表に示す河川環境主題データとする。

(1) 河川主題データ (1/2,500)

調査項目	大分類	中分類	小分類	調査項目	大分類	中分類	小分類
魚介類調査	魚介類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	両生類・爬虫類・哺乳類調査	両生類・爬虫類・哺乳類目撃法・フィールドサイン法調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分
		現地調査箇所	水際部環境区分			観察内容	水際部環境区分
		調査箇所	捕獲区域			撮影方向・位置	方向
		捕獲地点	位置			川の流れの方向	位置
		撮影方向・位置	方向			コメント	
		川の流れの方向	位置			両生類・爬虫類・哺乳類トラップ法調査票 (現地調査様式 4)	環境区分
底生動物調査	底生動物現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	陸上昆虫類等調査	陸上昆虫類等現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分
		現地調査箇所	水際部環境区分			トラップ	水際部環境区分
		定性採集	位置			撮影方向・位置	方向
		定量採集 (淡水域)	位置			川の流れの方向	位置
		定量採集 (汽水域)	位置			コメント	
		撮影方向・位置	方向	河川調査	河川調査総括図	調査実施状況	陸域環境区分
植物調査	植生図 (植生図作成調査) (現地調査様式 1)	群落				任意採集法区域	水際部環境区分
		コメント				任意採集法以外の実施箇所	
	植物群落組成調査票 3 (現地調査様式 5)	現地調査地点	コードラート位置			撮影方向・位置	方向
		川の流れの方向				位置	位置
	植物相調査票 2 (現地調査様式 7)	現地調査範囲	調査地区			川の流れの方向	
		撮影方向・位置	方向			コメント	
		位置	位置			水域の調査結果	水域環境区分
		川の流れの方向				境界域の調査結果	池および湧水の分布
	植生断面調査票 2 (現地調査様式 9)	歩行ルート				流入支川・排水の分布	
		撮影方向・位置	方向			陸域の調査結果	陸域環境区分
		位置	位置			横断工作物の調査結果	魚道
		川の流れの方向					
鳥類調査	鳥類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分			環境区分	陸域環境区分
		確認状況	水際部環境区分			水際部環境区分	水際部環境区分
		調査範囲				調査定線	
		川の流れの方向				観測範囲	
		コメント				調査定点	
						観測範囲	
	鳥類現地調査票 3 (現地調査様式 3)	環境区分	陸域環境区分			撮影方向・位置	方向
		調査範囲	水際部環境区分			位置	位置
		ライセンス法				川の流れの方向	
		定点点綴法				コメント	
		観測範囲				環境区分	陸域環境区分
		調査定線				水際部環境区分	水際部環境区分
	鳥類集団分布地状況図 (現地調査様式 5)	環境区分	陸域環境区分			集団分布地	
		調査範囲	水際部環境区分			川の流れの方向	
		ライセンス法				コメント	
		定点点綴法					
		観測範囲					
		調査定線					

(2) 流域主題データ (1/25,000)

調査項目	大分類	中分類	小分類
魚介類調査	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	
底生動物調査	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	
植物調査	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	
鳥類調査	調査地区位置図 (計画様式5)	調査地区	
	鳥類集団分布地および特定種確認位置図 (現地調査様式6)	集団分布地	
		集団分布地確認場所	
		特定種位置	
両生類・爬虫類・哺乳類調査	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	鳥獣の狩猟および保護に関する区域
陸上昆虫類等調査	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	
河川空間利用実態調査	河川利用施設位置図		

3 河川環境情報地図データの整備更新については、以下の方法に準拠するものである。

- (1) 地図データの整備にあたり基本とする資料は、「河川水辺の国勢調査」とする。
- (2) 地図データの更新は、「河川水辺の国勢調査」実施の都度更新する。

(作業方法)

第5条 前条第2項の主題データ (1/2500 レベル) の作成については、本条第1項および第2項で作成された背景データの出力図または 1/2,500 河川図等にデータを記入後、デジタイジングを行って取得するものとする。

2 前条第2項の主題データ (1/25000 レベル) の作成については、本条第4項で作成された背景データの出力図または 1/25,000 地形図等にデータを記入後、デジタイジングを行って取得するものとする。

(作業工程)

第6条 作業工程は、原則として次の各号のとおりとする。

- (1) 計画・準備作業
- (2) 計測基図作成作業
- (3) 数値データの計測および出力作業
- (4) データファイル作成作業

(工程管理および精度管理)

第7条 作業班長は、担当する作業の全般にわたり適切な工程管理および精度管理を行わなければならない。

2 精度管理の結果は、精度管理表に記録する。

3 精度管理等の結果不適當と認められた事項については、監督員に連絡するとともに速やかに是正措置を講じなければならない。

(点検および再点検)

第8条 作業者は、各工程の中間および終了時において所要の点検を行い、点検者は、各工程の終了時に再点検を行わなければならない。

(作業区分等の変更)

第9条 この要領で定められた作業方法、作業区分および順序については、作業能率を向上し、かつ、必要な精度を保持し得ると認められる場合には、監督員の承認を得て変更することができる。

第2章 計画・準備作業

(要 旨)

第10条 計画・準備作業とは、全般的な作業計画の立案、作業に必要な資料、物品、器材等の準備、その他次章以下の作業に先立って行うべき予備的な作業をいう。

(作業計画)

第11条 作業計画の立案に当たっては、一連の作業を効率的に実施するため、別記1「河川環境情報地図データ作成作業データファイル仕様」等に基づき、作業手順、実施方法等について十分考慮しなければならない。

第3章 計測基図作成作業

(要 旨)

第12条 計測基図作成作業とは、必要に応じて計測に必要な項目を地図・出力図等に明示、補描または不要部分を抹消し、計測用基図を作成する作業をいう。

(計測基図)

第13条 計測基図は、精度が確認された場合において、監督員の承認を得て拡大図を使用することができる。

2 計測基図は、隣接図葉との接合をとるものとする。接合部に著しい不都合が生じる場合は、監督員の指示による。

第4章 数値データの計測および出力作業

(要 旨)

第14条 数値データの計測および出力作業とは、計測基図からデジタイザ、スキャナ、編集装置等を用いて数値データの計測、属性データの入力、データ編集および出力する作業、もしくは、デジタルマッピングにより数値データの計測を行い、属性データの入力、データ編集および出力する作業をいう。

(数値データの計測作業)

第15条 マップデジタイズによる数値データの計測作業においては、デジタイザ、スキャナ、編集装置等を用いて、計測基図等から第4条第2項に規定する項目の計測を行う。計測方法は、デジタイザによる直接計測またはスキャナ計測によるラスタ・ベクタ変換とする。

2 デジタルマッピングによる数値データの計測作業においては、航空写真測量等により第4条第2項に規定する項目の計測を行う。

3 計測の対象は、次表のとおりとする。詳細は別記1「河川環境情報地図データ作成作業データファイル仕様および別記2「河川環境情報地図データ作成作業項目別データ取得基準細則」による。

<河川環境情報地図（河川主題データ）>

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	図式分類コード	形状 種別	属 性 名 称	代表的な表現方法
魚介類調査	1/2500	魚介類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	WL1221	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水域環境区分	水域環境区分	WL1222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL1231	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水際部環境区分	水際部環境区分	WL1232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
			現地調査箇所	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL1233	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を実線で出力する。
				調査箇所	調査箇所境界線	WL1241	線	-	外郭線を実線として出力する。
				調査箇所	調査箇所	WL1242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	-
				捕獲区域	捕獲区域境界線	WL1243	線	-	外郭線を実線として出力する。
				捕獲区域	捕獲区域	WL1244	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、魚介類調査方法コード	-
				捕獲地点	捕獲地点	WPL245	点	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、魚介類調査方法コード	シンボル化して出力する。
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	WL1291	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。
				位置	撮影位置	WPL292	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。
			川の流れの方向	位置	川の流れの方向	WL1293	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。
				コメント	コメント	WPL299	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。
			底生動物調査	環境区分	水域環境区分	WL2221	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水域環境区分	水域環境区分	WL2222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
底生動物調査	1/2500	底生動物現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	WL2221	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水域環境区分	水域環境区分	WL2222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL2231	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水際部環境区分	水際部環境区分	WL2232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
			現地調査箇所	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL2233	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を実線で出力する。
				定性採集	定性採集境界線	WL2241	線	-	外郭線を実線として出力する。
				定性採集	定性採集	WL2242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	-
				定量採集（淡水域）	定量採集境界線	WL2243	線	-	外郭線を実線として出力する。
				定量採集（面）	定量採集（面）	WL2244	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	-
				コドラート位置	コドラート位置	WP2245	点	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、コドラート番号、左右岸コード、調査年月日	シンボル化して出力し、コドラート番号を併記する。
				定量採集（線）	定量採集（線）	WL2246	線	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	線を実線で出力する。
				定量採集（点）	定量採集（点）	WP2247	点	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	シンボル化して出力する。
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	WL2248	点	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、コドラート番号、左右岸コード、調査年月日	シンボル化して出力し、コドラート番号を併記する。
				位置	撮影位置	WL2291	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。
			川の流れの方向	位置	撮影位置	WP2292	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。
				コメント	川の流れの方向	WL2293	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。
植物調査	1/2500	植生図（植生図作成調査） (現地調査様式 1)	群落	群落境界線	群落境界線	WL3241	線	-	外郭線を実線として出力する。
				群落	群落	WL3242	面	河川コード、群落区分番号、植生図基本分類番号、左右岸コード、調査年月日	基本分類に対応する色で塗りつぶし、群落区分番号を併記する。
			コメント	コメント	コメント	WP3299	点	河川コード、群落区分番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。
				現地調査地点	コドラート位置	WP3341	点	河川コード、コドラート番号、左右岸コード、調査年月日	シンボル化して出力し、コドラート番号を併記する。
			川の流れの方向	川の流れの方向	川の流れの方向	WL3393	線	河川コード、コドラート番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。
				コメント	コメント	WP3399	点	河川コード、コドラート番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。
			植物相調査票 2 (現地調査様式 7)	現地調査範囲	調査地区	WL3441	線	-	外郭線を実線として出力する。
				調査地区	調査地区境界線	WL3442	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	-
				撮影方向・位置	方向	WL3491	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。
				位置	撮影位置	WP3492	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。
			川の流れの方向	位置	川の流れの方向	WL3493	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。
				コメント	コメント	WP3499	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。
			植生断面調査票 2 (現地調査様式 9)	歩行ルート	歩行ルート	WL3541	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を実線で出力する。
				撮影方向・位置	方向	WL3591	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。
				位置	撮影位置	WP3592	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。
				川の流れの方向	川の流れの方向	WL3593	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。
				コメント	コメント	WP3599	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。

$$\infty$$

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	図式分類コード	形状 種別	属 性 名 称	代表的な表現方法		
鳥類調査	1/2500	鳥類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL4211	線	-	外郭線を実線として出力する。		
					陸域環境区分	WL4212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-		
					水際部環境区分境界線	WL4231	線	-	外郭線を実線として出力する。		
			水際部環境区分	水際部環境区分	WL4232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-			
				水際部環境区分分線	WL4233	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を实線で出力する。			
				確認状況	WP4241	点	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日、確認番号	シンボル化して出力し、調査箇所番号を併記す			
			調査範囲	調査範囲	WL4242	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日、確認番号	実線（太線）で出力する。			
				川の流れの方向	WL4293	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。			
				コメント	WL4299	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。			
			1/2500	鳥類現地調査票 3 (現地調査様式 3)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL4311	線	-	外郭線を実線として出力する。
							陸域環境区分	WL4312	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
							水際部環境区分境界線	WL4331	線	-	外郭線を実線として出力する。
					水際部環境区分	水際部環境区分	WL4332	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-	
						水際部環境区分分線	WL4333	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を实線で出力する。	
						調査範囲	WL4341	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	実線（太線）で出力する。	
	ラインセンス法	調査定線			WL4342	線	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	実線（太線）で出力する。			
		観測範囲			WL4343	線	-	外郭線を実線として出力する。			
		観測範囲境界線			WL4344	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	観測範囲をハッチングする。			
	定点記録法	調査定点			調査定点位置	WP4345	点	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	シンボル化して出力する。		
					調査定点方向	WL4346	線	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。		
					観測範囲	WL4347	線	-	外郭線を実線として出力する。		
	撮影方向・位置	方向			観測範囲	WL4348	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日	観測範囲をハッチングする。		
					撮影方向	WL4391	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。		
					位置	WP4392	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。		
	川の流れの方向	川の流れの方向	川の流れの方向	WL4393	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。				
			コメント	WP4399	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。				
							外郭線を実線として出力する。				
	1/2500	鳥類集団分布状況図 (現地調査様式 5)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL4411	線	-	外郭線を実線として出力する。		
					陸域環境区分	WL4412	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-		
					水際部環境区分境界線	WL4431	線	-	外郭線を実線として出力する。		
水際部環境区分			水際部環境区分	WL4432	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-				
			水際部環境区分分線	WL4433	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を实線で出力する。				
			集団分布地	WL4441	線	-	外郭線を実線として出力する。				
川の流れの方向			川の流れの方向	川の流れの方向	WL4442	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、集団分布地コード	観測範囲をハッチングする。			
				コメント	WL4493	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。			
				コメント	WP4499	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。			
両生類・爬虫類・ 哺乳類調査			1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類目撃法・フィールドサイン法調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL5211	線	-	外郭線を実線として出力する。
							陸域環境区分	WL5212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
							水際部環境区分境界線	WL5231	線	-	外郭線を実線として出力する。
					水際部環境区分	水際部環境区分	WL5232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-	
						水際部環境区分分線	WL5233	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を实線で出力する。	
						観察内容	WP5241	点	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日、確認形態コード、観察No.	シンボル化して出力し、観察Noを併記する。	
	撮影方向・位置	方向			撮影方向	WL5291	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。		
					位置	WP5292	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。		
					川の流れの方向	WL5293	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。		
	コメント	川の流れの方向			川の流れの方向	WP5299	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。		
					コメント						
	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類トラップ法調査票 2 (現地調査様式 4)			環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL5311	線	-	外郭線を実線として出力する。
							陸域環境区分	WL5312	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
							水際部環境区分境界線	WL5331	線	-	外郭線を実線として出力する。
水際部環境区分			水際部環境区分	WL5332	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-				
			水際部環境区分分線	WL5333	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を实線で出力する。				
			トラップ設置箇所	WL5341	線	-	外郭線を実線として出力する。				
トラップ設置箇所			トラップ設置箇所境界線	WL5341	線	-	外郭線を実線として出力する。				
			トラップ設置箇所	WL5342	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日、トラップ設置箇所番号、トラップ種類、設置トラップ数	トラップ設置箇所をハッチングする。				
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	WL5391	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。		
位置			WP5392		点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。				
川の流れの方向			WL5393		線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。				
コメント			川の流れの方向	川の流れの方向	WP5399	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。			
				コメント							

〈河川環境情報地図（河川主題データ）〉

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	図式分類コード	形状 種別	属 性 名 称	代表的な表現方法
陸上昆虫類等調査	1/2500	陸上昆虫類等現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL6211	線	-	外郭線を実線として出力する。
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA6212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL6231	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA6232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日	-
			調査実施状況	任意採集法区域	任意採集法区域境界線	WL6233	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日	線を実線で出力する。
				任意採集法区域	任意採集法区域	WL6241	線	-	外郭線を実線として出力する。
				任意採集法以外の実施箇所	任意採集法以外の実施箇所	WF6242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、陸上昆虫類等調査方法コード	-
				任意採集法以外の実施箇所	任意採集法以外の実施箇所	WF6243	点	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、陸上昆虫類等調査方法コード	シンボル化して出力する。
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	WL6291	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	撮影方向に矢印を併記する。
				位置	撮影位置	WF6292	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日	シンボル化して出力する。
河川調査	1/2500	河川調査総括図	川の流れの方向	川の流れの方向	川の流れの方向	WL6293	線	河川コード、調査地区番号、調査年月日	下流方向に矢印を併記する。
				コメント	コメント	WF6299	点	河川コード、調査地区番号、調査年月日、テキスト	シンボル化してテキストがあれば併記する。
			水域の調査結果	水域環境区分	水域環境区分境界線	WL7141	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水域環境区分	水域環境区分	WA7142	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、調査年度	-
				境界域の調査結果	池および湧水の分布	WL7144	線	-	外郭線を実線として出力する。
				池	池境界線	WA7145	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度	-
			水際部環境区分	湧水	湧水境界線	WL7146	線	-	外郭線を実線として出力する。
				湧水	湧水	WA7147	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度	-
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL7148	線	-	外郭線を実線として出力する。
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA7149	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年度	-
			流入支川・排水の分布	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL7150	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度	線を実線で出力する。
				流入支川・排水	流入支川・排水境界線	WL7151	線	-	外郭線を実線として出力する。
				流入支川・排水	流入支川・排水	WA7152	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度	-
				陸域の調査結果	水生分布境界線	WL7153	線	-	外郭線を実線として出力する。
			横断工作物の調査結果	水生分布	水生分布	WA7154	面	河川コード、調査地区番号、水生状況コード、左右岸コード、調査年度	基本分類に対応する色で塗りつぶす。
				魚道	魚道境界線	WL7155	線	-	外郭線を実線として出力する。
				魚道	魚道	WA7156	面	河川コード、調査地区番号、魚道コード、左右岸コード、調査年度	-

〈河川環境情報地図（流域主題データ）〉

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	図式分類コード	形状 種別	属 性 名 称	代表的な表現方法
魚介類調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	WP1141	点	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	シンボル化して出力する。
底生動物調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	WP2141	点	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	シンボル化して出力する。
植物調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	WP3141	点	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	シンボル化して出力する。
鳥類調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 5)	調査地区		調査地区 (点)	WP4141	点	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	シンボル化して出力する。
			調査地区		調査地区 (線)	WL4142	線	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	線を実線で出力する。
	1/25000	鳥類集団分布地および特定 種確認位置図 (現地調査様式 6)	集団分布地		集団分布地	WP4143	点	河川コード、調査地区番号、調査年度	シンボル化して出力する。
			集団分布地確認場所		集団分布地確認場所	WP4541	点	河川コード、調査地区番号、調査年度、集団分布地コード	シンボル化して出力する。
			特定種位置		特定種位置	WP4542	点	河川コード、調査地区番号、調査年度、特定種の名称	シンボル化して出力する。
			鳥獣の狩猟および保護に 関する区域		鳥獣の狩猟および保護に関 する区域境界線	WL4543	線	-	シンボル化して出力する。
両生類・爬虫類・ 哺乳類調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		鳥獣の狩猟および保護に 関する区域	WP4544	面	河川コード、調査地区番号、調査年度、鳥類保護区分コード	-
					調査地区	WP5141	点	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	シンボル化して出力する。
					調査地区	WP6141	点	河川コード、調査地区番号、調査地区担当コード、調査年度	シンボル化して出力する。
河川空間利用実態 調査	1/25000	河川利用施設位置図			河川利用施設位置	WP8141	点	河川コード、左右岸コード、調査年度、設置種別コード、種別毎No.	シンボル化して種別毎Noを併記する。

4 計測データに付与される図式分類コードは、別記1「河川環境情報地図データ作成作業データファイル仕様」による。

(デジタイザ計測)

第16条 デジタイザによる計測作業においては、計測基図の図郭四隅の計測を行う。図郭四隅の座標は、各図面の計測の前後に各1回計測し、2回の計測値の較差が図上 0.3 mm を超える場合は、当該図面を再計測する。

(スキャナ計測)

第17条 スキャナ計測作業により計測したデータは、ディスプレイ上に表示し、図形の復元状況を点検する。点検の結果、図形の脱落・変形がある場合は、再計測する。

2 ラスタ・ベクタ変換は、計測基図に忠実なベクタデータを得ることのできる適切な方法とする。

(デジタルマッピング)

第18条 デジタルマッピング作業においては、図形の平面位置および標高の表現精度の点検を行う。点検の結果、所定の精度が得られない場合は、再処理する。

(属性データの入力)

第19条 計測したデータには、編集装置等を用いて必要な属性情報を入力する。

2 入力する属性データの詳細は、別記1「河川環境情報地図データ作成作業データファイル仕様」による。

(データ編集)

第20条 計測されたデータおよび 1/2,500 デジタルマッピングデータ、数値地図 25000 等から取得されたデータは、編集することにより相互に整合を図る。

2 地図データは、標準地域メッシュの二次メッシュの図郭四隅を基準とする正規化座標に変換する。正規化座標は、図郭左下を (0.00, 0.00)、右上を (10,000.00, 10,000.00)、右下を (10,000.00, 0.00)、左上を (0.00, 10,000.00) とする。

3 メッシュデータは、標準地域メッシュ二次メッシュまたは独自のメッシュの図郭四隅を基準とする正規化座標に変換する。

4 異なる作成方法、計測基図等により作成されたデータは、ファイル内および接合部において整合するものとする。特に、街区縁データと建物ラスタデータとの間で整合

しない場合は、監督員の指示により街区縁データを修正する。

(構造化作業)

第21条 計測作業、属性データ入力作業で得られたデータは、編集装置を用いて、対話処理、自動処理およびこれらを併用した処理により以下の構造化を行う。

(1)属性データと対応づける。

(2)線データの接続関係を認識する。

(3)線データをポリゴン認識させ、属性データを付与する。

2 線データをポリゴン認識させる項目は、次表のとおりとする。

ポリゴン化対象項目（主題データ）

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	図式分類コード	形状 種別	属 性 名 称
魚介類調査	1/2500	魚介類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	W1221	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W1222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			現地調査箇所	調査箇所	調査箇所境界線	W1231	線	—
				調査箇所	調査箇所境界線	W1232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				捕獲区域	捕獲区域境界線	W1241	線	—
				捕獲区域	捕獲区域境界線	W1242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				捕獲区域	捕獲区域境界線	W1243	線	—
				捕獲区域	捕獲区域境界線	W1244	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、魚介類調査方法コード
				環境区分	水域環境区分境界線	W2221	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W2222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W2231	線	—
底生動物調査	1/2500	底生動物現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	W2232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W2241	線	—
			現地調査箇所	定性採集	定性採集境界線	W2242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				定性採集	定性採集境界線	W2243	線	—
				定量採集（淡水域）	定量採集（面）	W2244	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				定量採集（面）	定量採集（面）	W2244	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				群落境界線	群落境界線	W3241	線	—
				群落	群落境界線	W3242	面	河川コード、群落区分番号、植生図基本分類番号、左右岸コード、調査年月日
				調査地区	調査地区境界線	W3441	線	—
				調査地区	調査地区境界線	W3442	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日
鳥類調査	1/2500	鳥類現地調査票 2 (現地調査様式 7)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W4211	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
	1/2500	鳥類現地調査票 3 (現地調査様式 3)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W4231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4311	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4312	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4331	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4332	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				観測範囲境界線	観測範囲境界線	W4343	線	—
				観測範囲	観測範囲	W4344	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				観測範囲境界線	観測範囲境界線	W4347	線	—
				観測範囲	観測範囲	W4348	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
	1/2500	鳥類集団分布地状況図 (現地調査様式 5)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W4411	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W4412	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4431	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W4432	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			集団分布地	集団分布地境界線	集団分布地境界線	W4441	線	—
				集団分布地	集団分布地境界線	W4442	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、集団分布地コード
				鳥獣の狩猟および保護に関する区域	鳥獣の狩猟および保護に関する区域境界線	W4543	線	—
				鳥獣の狩猟および保護に関する区域	鳥獣の狩猟および保護に関する区域境界線	W4544	面	河川コード、調査地区番号、調査年度、鳥類保護区分コード
両生類・爬虫類・哺乳類調査	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類目撃法・フィールドサイン法調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W5211	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W5212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類トラップ法調査票 2 (現地調査様式 4)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W5231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W5232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W5311	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W5312	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			トラップ設置箇所	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W5331	線	—
				トラップ設置箇所	トラップ設置箇所境界線	W5332	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
陸上昆虫類等調査	1/2500	陸上昆虫類等現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W5341	線	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日、トラップ設置箇所番号、トラップ種類、設置トラップ数
				陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W5342	面	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W6211	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W6212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			調査実施状況	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	W6231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W6232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				任意採集法区域	任意採集法区域境界線	W6241	線	—
				任意採集法区域	任意採集法区域境界線	W6242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、陸上昆虫類等調査方法コード
河川調査	1/2500	河川調査総括図	水域の調査結果	水域環境区分	水域環境区分境界線	W7141	線	—
				水域環境区分	水域環境区分境界線	W7142	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、調査年度
			境界域の調査結果	池および湧水の分布	池境界線	W7144	線	—
				池	池境界線	W7145	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度
				湧水	湧水境界線	W7146	線	—
				湧水	湧水境界線	W7147	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W7148	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	W7149	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年度
				流入支川・排水の分布	流入支川・排水境界線	W7151	線	—
				流入支川・排水	流入支川・排水境界線	W7152	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度
				陸域の調査結果	陸域境界線	W7153	線	—
				陸域の調査結果	陸域境界線	W7154	面	河川コード、調査地区番号、陸域境界線コード、左右岸コード、調査年度
			補断工作物の調査結果	魚道	魚道境界線	W7155	線	—
				魚道	魚道境界線	W7156	面	河川コード、調査地区番号、魚道コード、左右岸コード、調査年度
				魚道	魚道境界線	W7156	面	河川コード、調査地区番号、魚道コード、左右岸コード、調査年度
				魚道	魚道境界線	W7156	面	河川コード、調査地区番号、魚道コード、左右岸コード、調査年度

- 3 新たに認識されたポリゴンデータに付与される図式分類コードは、別記1「河川環境情報地図データ作成作業データファイル仕様」による。

(隣接図との接合)

第22条 データは、隣接図葉間で接合させ、各接合要素の座標値を一致させる。

第5章 データファイル作成作業

(要 旨)

第23条 データは、別記1「河川環境情報地図データ作成作業データファイル仕様」に従い、磁気テープ等の記録媒体に記録し、データファイルを作成する。

(データファイルの点検)

第24条 作成されたデータファイルは、自動製図機等を用いて出力図を作成し、計測基図等と比較対照することにより、データの誤り等を点検する。また、プログラム等によりファイルフォーマットを点検する。

- 2 出力図は、原則としてデータ項目ごとに計測基図と同縮尺のものを作成する。ただし、必要に応じ監督員と協議の上、計測基図と異なる縮尺や複数のデータ項目についての出力図を作成することができる。

- 3 点検の結果、データに誤りがある場合には、当該データを修正する。

(成果等)

第25条 成果等は、次の各号のとおりとする。

- (1) データファイル
- (2) 精度管理表
- (3) データファイル作成記録
- (4) 資料
 - ① 計測基図
 - ② 出力図
 - ③ その他の資料

II．河川環境情報地図データ作成作業 データファイル仕様（別記－１）

1．概 要

河川環境情報地図データ作成作業で作成されるデータは、基本的に空間データ基盤作成作業で作成する構造化データのフォーマットに準ずるものとする。

- ・ 図式分類コードは河川環境情報地図データ作成作業で定めたものを使用する。
- ・ 必要要素（アーク、ポリゴン等）ごとにファイルを作成し、ファイル、ディレクトリーのツリー構造とする。
- ・ 項目はカンマ区切りとし、項目長、レコード長は可変とする。
- ・ 日本語はシフトＪＩＳとする。
- ・ 標準地域メッシュの二次メッシュ(1/25,000)内の10,000×10,000正規化座標を単位としてデータを格納する。

2．ファイル構造

2.1 ファイルの種類

(1) レイヤー管理ファイル

(2) 地図データ

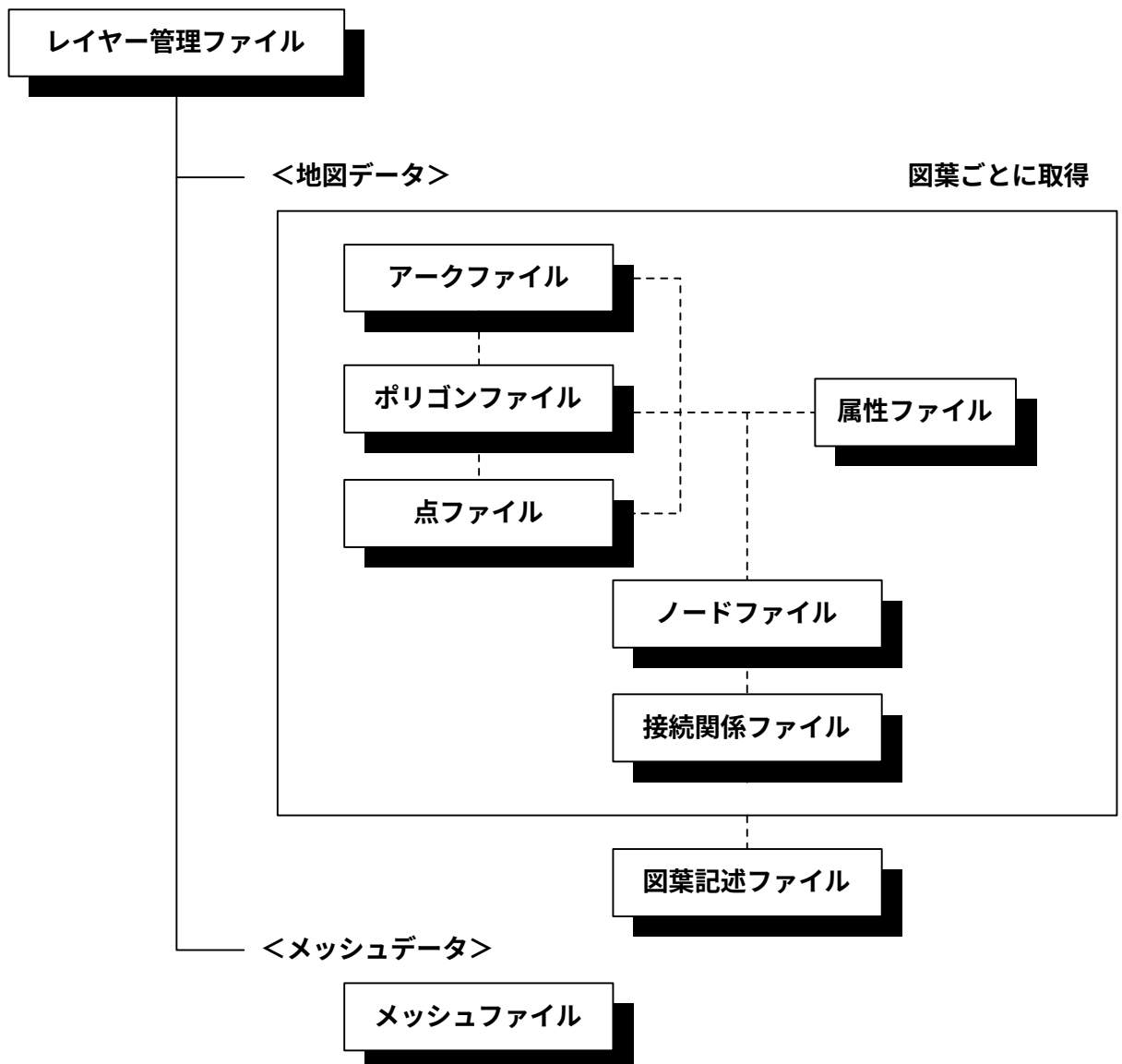
- ① アークファイル
- ② ポリゴンファイル
- ③ 点ファイル
- ④ 属性ファイル
- ⑤ ノードファイル
- ⑥ 接続関係ファイル（ネットワーク）
- ⑦ 図葉記述ファイル

(3) メッシュデータ

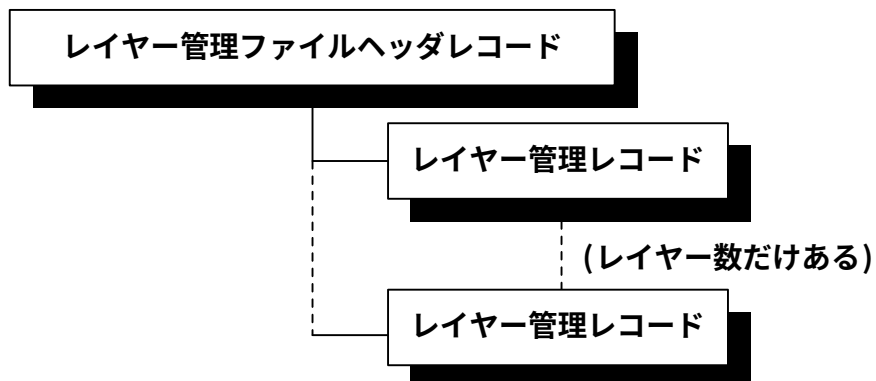
- ① メッシュファイル

2.2 各ファイルのレコードの並び

(1) 全体構成

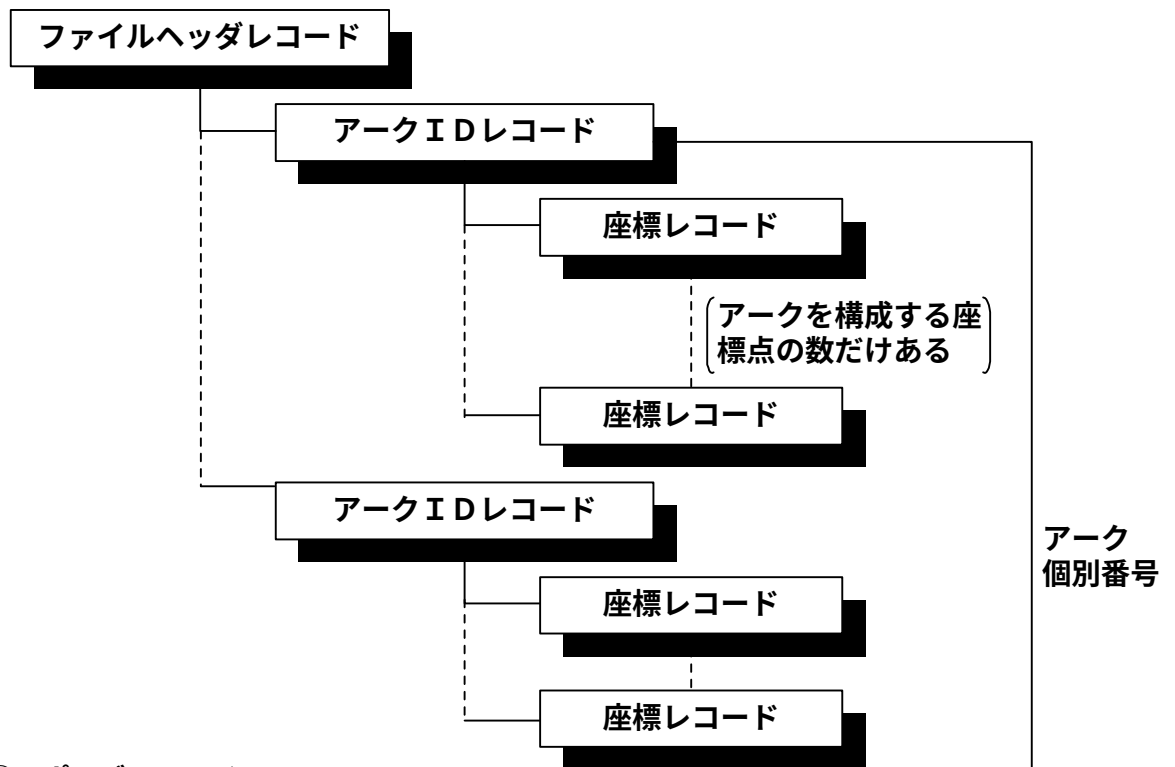


(2) レイヤー管理ファイル

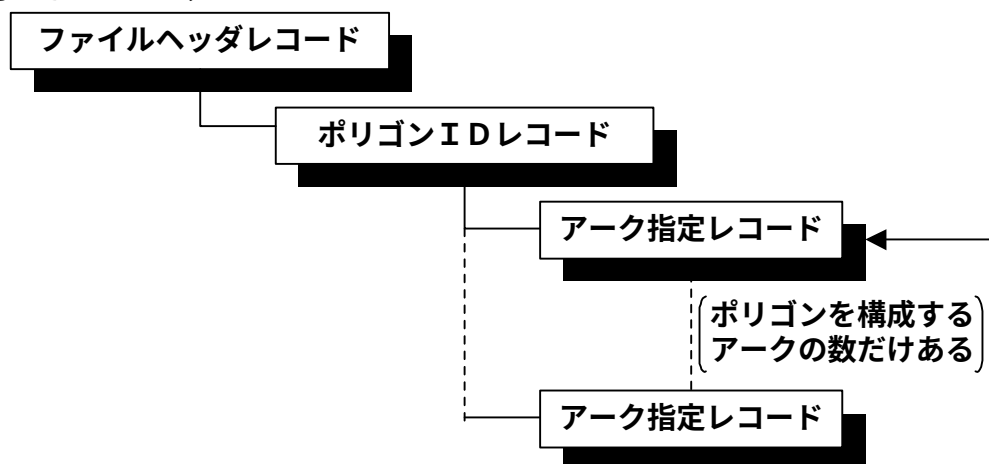


(3) 地図データ

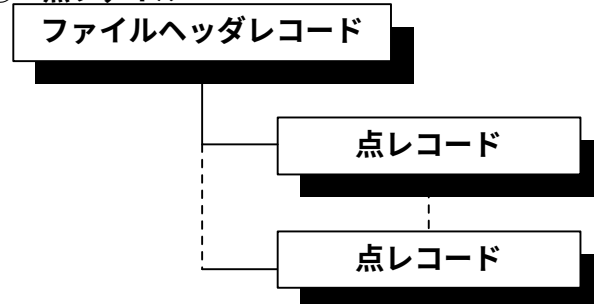
① アークファイル



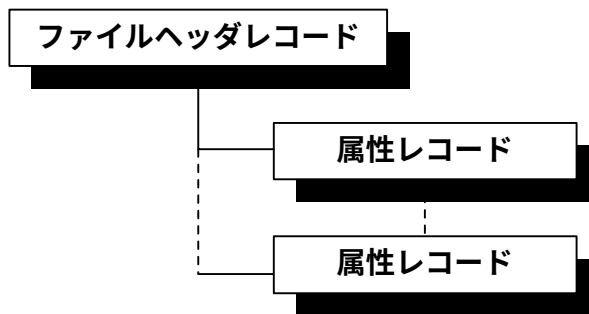
② ポリゴンファイル



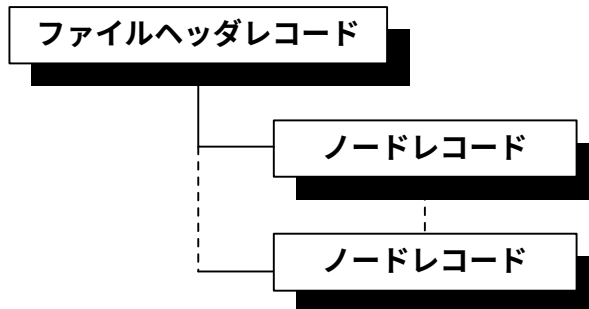
③ 点ファイル



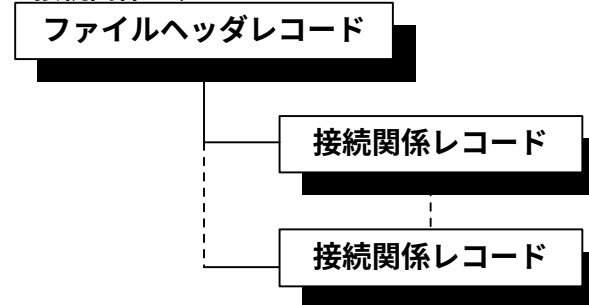
④ 属性ファイル



⑤ ノードファイル



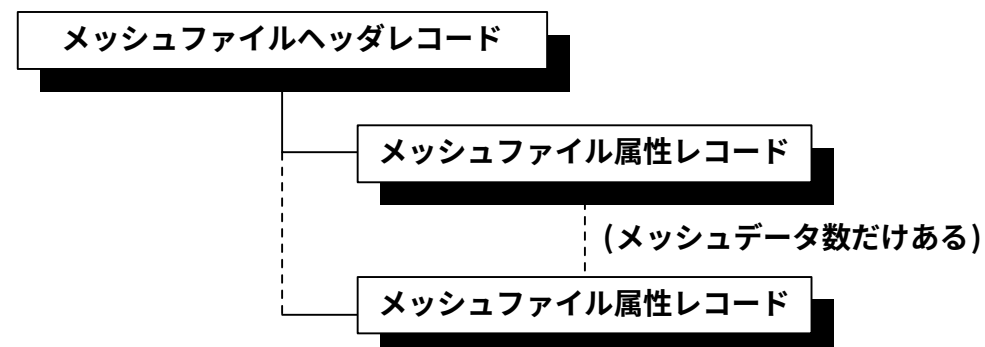
⑥ 接続関係ファイル



⑦ 図葉記述ファイル

当該図葉に関する各種の情報（測量計画機関、データ作成方法、準拠座標系、座標数値の単位等）を記述するファイル。

(4) メッシュデータ（メッシュファイル）



3. 各レコードに記載する項目

以下において、罫線枠で囲まれたそれぞれの箱が一つのフィールドを表わす。既に述べたように各フィールドはカンマで区切られ、各レコードの終わりには<CR><LF>コードが付される。

3.1 レイヤー管理ファイル

(1) レイヤー管理ファイルヘッダレコード

LH	ファイル名	レコード総数
----	-------	--------

- ① LH：レイヤー管理ファイルヘッダレコードであることを表す識別子。“LH”の文字を記載。
- ② レコード総数：当該ファイルに含まれるレコード（レイヤー）の総数。レイヤー管理ファイルヘッダー自身を含めて数える。

(2) レイヤー管理レコード

図式分類 コード	原図作成 年次	原図 作成者	原図 管理者	原図の 縮尺	データ 作成年次	データ 作成者	データ 管理者	データ の縮尺	備考
-------------	------------	-----------	-----------	-----------	-------------	------------	------------	------------	----

- ① 図式分類コード：「河川環境情報地図データ作成作業 実施要領」および「河川環境情報地図データ作成作業項目別データ取得基準細則（別記2）」に規定する図式分類コードを記載する。これは、河川環境情報地図データであることを表す"W"、アークIDレコードであることを表す"L"(Line)の後に、河川環境情報地図データの各情報項目を表す4桁のコードを付加したものである。

- ② 原図作成年次：取得データの原図の作成年月日。
- ③ 原図作成者：取得データの原図の作成者および所管。
- ④ 原図管理者：取得データの原図の管理者および所管。
- ⑤ 原図の縮尺：取得データの原図の縮尺（1／○で表記）。
- ⑥ データ作成年次：データ取得の作成年月日。
- ⑦ データ作成者：データ取得者および所管。
- ⑧ データ管理者：データ取得時管理者および所管。
- ⑨ データの縮尺：データ取得時の縮尺（1／○で表記）。
- ⑩ 備考：同一レイヤーで原図の条件およびデータ取得条件が異なる場合等に記述。カンマは使用不可。

3.2 地図データ

(1) ファイルヘッダーレコード

FH	図名	ファイル名	レコード総数	要素の総数	座標系フラグ	座標系番号	図郭左 下角の x座標	図郭左 下角の y座標	図郭右 上角の x座標	図郭右 上角の y座標
----	----	-------	--------	-------	--------	-------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

- ① FH：ファイルヘッダーレコードであることを表す識別子。“FH”の文字を記載。
- ② 図名：二次メッシュコード（計6文字）
- ③ ファイル名：当該ファイルの名称
- ④ レコード総数：当該ファイルに含まれるレコードの総数。ファイルヘッダー自身を含めて数える。
- ⑤ 要素の総数：当該ファイルに含まれる要素の総数。アークやポリゴンではIDレコード数に等しい。
- ⑥ 座標系フラグ：二次メッシュ単位の正規化座標であることを示すフラグ。“2”を記入する。
- ⑦ 座標系番号：値“1”を入れる。

(2) アークIDレコード

図式分類コード	線種タグ	個別番号	当該アークを構成する座標レコードの数
---------	------	------	--------------------

- ① 図式分類コード：「河川環境情報地図データ作成作業 実施要領」および「河川環境情報地図データ作成作業項目別データ取得基準細則（別記2）」に規定する図式分類コードを記載する。これは、河川環境情報地図データであることを表す“W”、アークIDレコードであることを表す“L”(Line)の後に、河川環境情報地図データの各情報項目を表す4桁のコードを付加したものである。
- ② 線種タグ：通常のアークは“0”とし、道路等については、高架、地下の区別、ポリゴンを閉じるために設定する不確実な界線（河口部の海岸線、未定行政界等）等を表現するために用いるタグ。（タグの番号については5節に記載）
- ③ 個別番号：各アークを区別するための個別番号。1図葉内に含まれるすべてのアークについて、一意の番号を割り当てる（8桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。

(3) 座標レコード

x 座標	y 座標	z 座標
------	------	------

- ① x, y 座標は、すべて二次メッシュ左下角を(0.00,0.00)、右上角を(10,000.00, 10,000.00)とした正規化座標。
- ② 小数点付数字（小数点以下2桁）で表す。
- ③ z 座標はメートル単位とし、小数点付数字で表す（空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する）。

(4) ポリゴンIDレコード

図式分類コード	個別番号	当該ポリゴンを構成する アーク指定レコードの数	代表点のx座標	代表点のy座標
---------	------	----------------------------	---------	---------

- ① 図式分類コード：「河川環境情報地図データ作成作業 実施要領」および「河川環境情報地図データ作成作業項目別データ取得基準細則（別記2）」に規定する図式分類コードを記載する。これは、河川環境情報地図データであることを表す"W"、ポリゴンIDレコードであることを表す"A"(Area)の後に、河川環境情報地図データの各情報項目を表す4桁のコードを付加したものである。
- ② 個別番号：各ポリゴンを区別するための個別番号。1図葉内に含まれるすべてのポリゴンについて、一意の番号を割り当てる（8桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。
- ③ 代表点のx、y 座標：ポリゴン内に含まれる代表点の座標。図郭左下角を(0.00,0.00)とする相対値。

(5) アーク指定レコード

アークの個別番号

- ① ポリゴンを右回りに（当該ポリゴンを右に見て）連続して囲むようにアークを指定する。アークの指定には、アークIDレコードに記述されている個別番号を用いる。アークの座標点列の向きが、この順序と逆の場合には個別番号にマイナスの符号を付ける。
- ② ポリゴン内部に当該ポリゴンに含まれない領域があるような多重連結構造を表すために、ポリゴンの内および外の界線の間を結ぶ仮のアークを設置して、これを往復することで、一筆書きでこのようなポリゴンを表現するようにする。

(6) 点レコード

図式分類コード	個別番号	x座標	y座標	z座標
---------	------	-----	-----	-----

- ① 図式分類コード：「河川環境情報地図データ作成作業 実施要領」および「河川環境情報地図データ作成作業項目別データ取得基準細則（別記2）」に規定する図式分類コードを記載する。これは、河川環境情報地図データであることを表す"W"、点レコードであることを表す"P"(Point)の後に、河川環境情報地図データの各情報項目を表す4桁のコードを付加したものである。
- ② 個別番号：各点を区別するための個別番号。1図葉内に含まれているすべての点について、一意の番号を割り当てる（8桁以内で、図式分類コードが異なっても同じ番号を割り当てない）。
- ③ x、y座標は二次メッシュ左下角を(0.00,0.00)、右上角(10,000.00, 10,000.00)とした正規化座標。
- ④ z座標はメートル単位とし、小数点付数字で表す（空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する）。

(7) 属性レコード

図式分類コード	個別番号	属性数	属性1	属性2	...	属性n
---------	------	-----	-----	-----	-----	-----

- ① 図式分類コードと個別番号で、個別の対象を指定し、第三のフィールドに属性数nを記載する。第四フィールド以降に属性を記述する。
- ② 属性ファイルは、項目ごとに別ファイルとする（例えば、調査地区番号、調査年月日、左右岸コード、等々）。
- ③ 同一フィールド内では、半角文字と全角文字を混在させない。
- ④ 漢字コードは、シフトJISコードとする。

(8) ノードレコード

ノード番号	図郭・端点タグ	ノードのx座標	ノードのy座標	ノードのz座標
-------	---------	---------	---------	---------

- ① ノード番号は1図葉内で一意の番号を割り当てる（8桁以内）。
- ② 図郭・端点タグは、ノードが図郭線上に位置する場合および端点（行き止まりとなる道路の終端の点）となる場合を示すもので、番号は次項に規定する。
- ③ z座標はメートル単位とし、小数点付数字で表す（空欄とし、高さ関係の解析が必要な場合等、必要に応じて取得する）。

・ 座標系フラグ

座標系フラグ	意味
1	平面直角座標系
2	二次メッシュごとの正規化座標系

・ 図郭・端点タグ（ノードレコード）

① 同一座標系内の図郭境界での接続・非接続関係を示すタグ

図郭・端点タグ	ノードの位置	図郭・端点タグ	ノードの位置
0	図郭内部（端点以外）	1 0	図郭内部の端点
1	図郭左上角（端点以外）	1 1	図郭左上角の端点
2	図郭上辺（端点以外）	1 2	図郭上辺の端点
3	図郭右上角（端点以外）	1 3	図郭右上角の端点
4	図郭右辺（端点以外）	1 4	図郭右辺の端点
5	図郭右下角（端点以外）	1 5	図郭右下角の端点
6	図郭下辺（端点以外）	1 6	図郭下辺の端点
7	図郭左下角（端点以外）	1 7	図郭左下角の端点
8	図郭左辺（端点以外）	1 8	図郭左辺の端点

② 座標系の境界での接続・非接続関係を示すタグ

図郭・端点タグ	ノードの位置	図郭・端点タグ	ノードの位置
2 0	境界線(図郭線との交点以外)（端点以外）	3 0	境界線(図郭線との交点以外)の端点
2 1	境界線かつ図郭左上角（端点以外）	3 1	境界線かつ図郭左上角の端点
2 2	境界線と図郭上辺の交点（端点以外）	3 2	境界線と図郭上辺の交点の端点
2 3	境界線かつ図郭右上角（端点以外）	3 3	境界線かつ図郭右上角の端点
2 4	境界線かつ図郭右辺の交点（端点以外）	3 4	境界線と図郭右辺の交点の端点
2 5	境界線かつ図郭右下角（端点以外）	3 5	境界線かつ図郭右下角の端点
2 6	境界線と図郭下辺の交点（端点以外）	3 6	境界線と図郭下辺の交点の端点
2 7	境界線と図郭左下角（端点以外）	3 7	境界線かつ図郭左下角の端点
2 8	境界線と図郭左辺の交点（端点以外）	3 8	境界線と図郭左辺の交点の端点

(9) 接続関係レコード (ネットワーク)

アークの個別番号	始点ノード番号	終点ノード番号
----------	---------	---------

(10) 図葉記述ファイルの仕様

以下の順に従って1行の情報を1レコードに記述する。ただし、当該図葉に含まれるファイルすべての名称については1行にファイルを記述する。

- ① 河川環境情報地図データファイルであることの識別 (全角入力)
- ② 計画機関名 (全角入力)
- ③ データ作成年月 (全角入力)
- ④ 原データに関する最新の図歴 (全角入力)
- ⑤ 図名 (半角入力)
- ⑥ 地図情報レベル (縮尺に相当する概念、2500または25000とする。半角入力)
- ⑦ 準拠座標系、図郭の左下および右上座標 (半角入力)
- ⑧ 座標数値の単位 (全角入力)
- ⑨ 隣接8図名 (半角入力)
- ⑩ 当該図葉に含まれるファイルすべての名称 (半角入力)

3.3 メッシュデータ

(1) メッシュファイルヘッダーレコード

MH	ファイル名	レコード総数	メッシュデータ種別	二次メッシュ番号	図郭左下 角のx座標	図郭左下 角のy座標	図郭左上 角のx座標	図郭左上 角のy座標	図郭右上 角のx座標	図郭右上 角のy座標	図郭右下 角のx座標	図郭右下 角のy座標
----	-------	--------	-----------	----------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

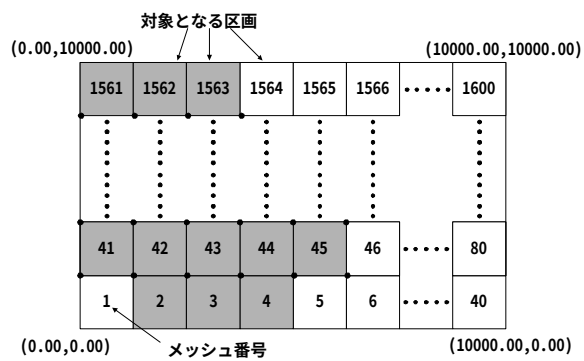
x方向メ ッシュ分割 数	y方向メ ッシュ分割 数	属性フ ィールド の総 数	属性フ ィールド 1の 属性名	属性フ ィールド 2の 属性名	...
--------------------	--------------------	------------------------	--------------------------	--------------------------	-----

- ① MH：メッシュデータファイルヘッダーレコードであることを表す識別子。“MH”の文字を記載。
- ② ファイル名：当該ファイルの名称。
- ③ レコード総数：当該ファイルに含まれる要素の総数。メッシュファイルヘッダー自身を含めて数える。
- ④ メッシュデータ種別：二次メッシュを単純分割している場合は“0”とし、該当する二次メッシュ番号を入力する。一方、メッシュデータの四隅が二次メッシュと対応していない場合は“1”とし、四隅のx、y座標値を緯度、経度で入力する。このとき、秒の値は小数点付数字で表すことにより、一括して座標の正規化ができるようにしておくものとする。
- ⑤ メッシュ分割数：x方向とy方向のメッシュ分割数を入力する（整数値）。
- ⑥ 属性フィールドの総数：属性フィールドの総数。
- ⑦ 属性フィールドの属性名：属性フィールドの属性名および単位。

(2) メッシュファイル属性レコード

図式分類コード	メッシュ番号	属性1	属性2	...	属性n
---------	--------	-----	-----	-----	-----

- ① 図式分類コードとメッシュ番号で、個別のメッシュを指定し、第三フィールド以降に属性を記述する。
- ② メッシュ番号は下図のように、左下隅から1、2、3…とし、右上隅がx方向メッシュ分割数x y方向メッシュ分割数となるようにする。



- ③ 同一フィールド内では、半角文字と全角文字を混在させない。
- ④ 漢字コードは、シフトJISコードとする。

4. 調査項目および属性レコードの記載事項

河川環境情報地図データ項目および属性レコードの記載事項を示す。

4.1 調査項目

次表に河川環境情報地図データ調査項目を示す。

表-4.1 河川環境情報地図データ調査項目一覧表(1)

調査項目	備考	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	属 性 名 称																											
						共 通										魚介類調査	底生動物調査	植物調査			鳥類調査			両生類・爬虫類・哺乳類調査					陸上昆虫類等調査	河川調査		河川空間利用実態調査	
						河川コード	調査地区番号	調査箇所番号	陸域環境区分コード	水域環境区分コード	水際部環境区分コード	調査地区担当コード	左右岸コード	リスト	調査年度	調査年月日	魚介類調査方法コード	コドラート番号	群落区分番号	植生図基本分類番号	コドラート番号	確認番号	集団分布地コード	鳥類保護区分コード	特定種の名称	確認形態コード	観察No.	トラップ設置箇所番号	トラップ種類	設置トラップ数	陸上昆虫類等調査方法コード	魚道コード	植生状況コード
魚介類調査	1/25000 1/2500	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	○	○					○																					
		魚介類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分	○				○																							
				水際部環境区分	水際部環境区分	○																											
				水際部環境区分線	水際部環境区分線	○																											
		現地調査箇所	調査箇所	調査箇所	○																												
			捕獲区域	捕獲区域	○																												
			捕獲地点	捕獲地点	○										○																		
		撮影方向・位置	方向	撮影方向	○																												
位置	撮影位置	○																															
川の流れの方向	川の流れの方向	○																															
コメント	コメント	○																															
底生動物調査	1/25000 1/2500	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	○	○					○																					
		底生動物現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分	○																											
				水際部環境区分	水際部環境区分	○																											
				水際部環境区分線	水際部環境区分線	○																											
		現地調査箇所	定性採集	定性採集	○																												
			定量採集 (淡水域)	定量採集 (面) コドラート位置	○																												
			定量採集 (汽水域)	定量採集 (線) 定量採集 (点) コドラート位置	○ ○ ○																												
		撮影方向・位置	方向	撮影方向	○																												
位置	撮影位置	○																															
川の流れの方向	川の流れの方向	○																															
コメント	コメント	○																															
植物調査	1/25000 1/2500 1/2500 1/2500 1/2500 1/2500 1/2500	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	○	○					○																					
		植生図 (植生図作成調査)	群落		群落	○										○	○																
		植物群落組成調査票 3 (現地調査様式 5)	コメント	コドラート位置	コメント	○											○																
		植物相調査票 2 (現地調査様式 7)	川の流れの方向	川の流れの方向	○																												
			コメント	コメント	○																												
			現地調査範囲	調査地区	調査地区	○	○																										
		植生断面調査票 2 (現地調査様式 9)	撮影方向・位置	方向	撮影方向	○																											
			位置	撮影位置	○																												
			川の流れの方向	川の流れの方向	○																												
		コメント	コメント	○																													

表－4.1 河川環境情報地図データ調査項目一覧表(2)

調査項目	調査年度	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	属 性 名 称																													
						共 通										魚介類調査	底生動物調査	植物調査				鳥類調査				両生類・爬虫類・哺乳類調査				陸上昆虫類等調査	河川調査		河川空間利用実態調査		
						河川コード	調査地区番号	調査箇所番号	陸域環境区分コード	水域環境区分コード	水際部環境区分コード	調査地区担当コード	左右岸コード	テキスト	調査年度	調査年月日	魚介類調査方法コード	コドラ番号	群落区分番号	植生図基本分類番号	コドラ番号	確認番号	集団分布地コード	鳥類保護区分コード	特定種の名	確認形態コード	観察No.	トラップ設置箇所番号	トラップ種類	設置トラップ数	陸上昆虫類等調査方法コード	魚道コード	植生状況コード	設置種別コード	種別毎No.
鳥類調査	1/25000	調査地区位置図 両生類・爬虫類・哺乳類目撃 フィールドサイン法調査票2 鳥類現地調査票2 (現地調査様式2)	調査地区	調査地区(点)	○	○					○																								
				調査地区(線)	○	○								○																					
			環境区分	陸域環境区分	集団分布地	○	○					○			○																				
					陸域環境区分	○	○							○			○																		
					水際部環境区分	○	○	○						○			○																		
					水際部環境区分線	○	○							○			○																		
				確認状況	確認状況	○	○							○			○					○													
					調査範囲	○	○							○			○					○													
					川の流れの方向	○	○							○			○					○													
					コメント	○	○								○			○																	
	1/2500	鳥類現地調査票3 (現地調査様式3)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分	○	○						○			○																			
					水際部環境区分	○	○							○			○																		
			調査範囲	水際部環境区分線	○	○							○			○																			
				調査範囲	○	○							○			○																			
				ラインセンス法	○	○	○						○			○																			
				観測範囲	○	○	○						○			○																			
				調査定線	○	○	○						○			○																			
				観測範囲	○	○	○						○			○																			
				調査定位置	○	○	○						○			○																			
				調査定位置	○	○	○						○			○																			
				観測範囲	○	○	○						○			○																			
				撮影方向・位置	方向	○	○	○						○			○																		
	位置	○	○	○							○			○																					
	川の流れの方向	○	○	○							○			○																					
	コメント	○	○								○			○																					
	1/2500	鳥類集団分布地状況図 (現地調査様式5)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分	○	○						○			○																			
					水際部環境区分	○	○							○			○																		
調査範囲			水際部環境区分線	○	○							○			○																				
			調査範囲	○	○							○			○																				
			集団分布地	○	○							○			○																				
			川の流れの方向	○	○								○			○																			
			川の流れの方向	○	○								○			○																			
			コメント	○	○								○			○																			
			コメント	○	○								○			○																			
			鳥類集団分布地確認場所	○	○								○			○																			
			特定種位置	○	○								○			○																			
			鳥獣の狩猟および保護に関する区域	○	○								○			○																			
鳥獣の狩猟および保護に関する区域	○	○								○			○																						

表-4.1 河川環境情報地図データ調査項目一覧表(3)

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	属 性 名 称																														
						共 通										魚介類調査	底生動物調査	植物調査		鳥類調査				両生類・爬虫類・哺乳類調査				陸上昆虫類等調査	河川調査		河川空間利用実態調査					
						河川コード	調査地区番号	調査箇所番号	陸域環境区分コード	水域環境区分コード	水際部環境区分コード	調査地区担当コード	左右岸コード	テキスト	調査年度	調査年月日	魚介類調査方法コード	コドラー番号	群落区分番号	種生図基本分類番号	コドラー番号	確認番号	集団分布地コード	鳥類保護区分コード	特定の名称	確認形態コード	観察No.	トラップ設置箇所番号	トラップ種類	設置トラップ数	陸上昆虫類等調査方法コード	魚道コード	植生状況コード	設置種別コード	種別毎No.	
両生類・爬虫類・哺乳類調査	1/25000 1/2500	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	調査地区	調査地区	○	○				○			○																						
					両生類・爬虫類・哺乳類目撃法 フィールドサイン法調査票2 鳥類現地調査票2	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分	○	○			○			○																				
							水際部環境区分	水際部環境区分	○	○			○			○																				
						水際部環境区分線	水際部環境区分線	○	○					○			○										○	○								
						確認形態	確認形態	○	○					○			○																			
						撮影方向・位置	撮影方向	○	○					○			○																			
						位置	撮影位置	○	○								○																			
					川の流れの方向	川の流れの方向	○	○								○																				
	コメント	コメント	○	○					○			○																								
	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類トラップ法調査票2 (現地調査様式4)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分	○	○			○			○																							
				水際部環境区分	水際部環境区分	○	○			○			○																							
			水際部環境区分線	水際部環境区分線	○	○					○			○																						
			トラップ設置箇所	トラップ設置箇所	○	○					○			○												○	○	○								
			撮影方向・位置	撮影方向	○	○					○			○													○	○								
			位置	撮影位置	○	○								○																						
			川の流れの方向	川の流れの方向	○	○								○																						
			コメント	コメント	○	○					○			○																						
陸上昆虫類等調査	1/25000 1/2500	調査地区位置図 (計画様式4)	調査地区	調査地区	調査地区	○	○					○																								
					陸上昆虫類等現地調査票2 (現地調査様式2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分	○	○			○			○																				
	水際部環境区分	水際部環境区分	○	○				○			○																									
	水際部環境区分線	水際部環境区分線	○	○					○			○																								
	調査実施状況	任意採集法区域	任意採集法区域	○	○	○			○			○																○								
	任意採集法以外の実施箇所	任意採集法以外の実施箇所	○	○	○			○				○															○									
	撮影方向・位置	撮影方向	撮影方向	○	○							○																								
	位置	撮影位置	撮影位置	○	○							○																								
	川の流れの方向	川の流れの方向	川の流れの方向	○	○							○																								
	コメント	コメント	コメント	○	○				○			○																								
河川調査	1/2500	河川調査総括図	水域の調査結果	水域環境区分	水域環境区分	○	○		○			○																								
				境界域の調査結果	池および湧水の分布	池	○	○					○																							
			陸域の調査結果	湧水	湧水	○	○					○			○																					
				水際部環境区分	水際部環境区分	○	○			○			○																							
				水際部環境区分線	水際部環境区分線	○	○					○			○																					
			流入支川・排水の分布	流入支川・排水の分布	○	○					○			○																						
横断工作物の調査結果	魚道	魚道	○	○				○			○				○												○									
河川空間利用実態調査	1/25000	河川利用施設位置図		河川利用施設位置	○						○																		○	○						

4.2 共通属性

複数の調査で共通に扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 河川コード（全調査項目）

河川現況調査に用いられているコードを使用。

河川コード：○○○△△△×××

○○○：水系を表す △△△：一次支川を表す

×××：二次支川を表す

(2) 調査地区番号（全調査項目）

調査実施した地区を取得するための番号であり、詳細は以下のとおり漢字名及び連番の組合せとする（「平成9年度版河川水辺の国勢調査マニュアル 河川版（生物調査編）」に準拠）。

調査地区番号：△○●No

項目	詳細
△	水系名の頭文字
○	河川名の頭文字
●	事務所の頭文字
No	河川毎の連番

(3) 調査箇所番号

各調査地区内の調査箇所を把握するための番号であり、下流から上流への連番として定義される。

(4) 陸域環境区分コード（鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫類等調査の項目）

コード	内容	備考
00	なし	
01	沈水・浮葉	
02	草地	
03	低木林	
04	高木林	
05	裸地	
06	竹林	
07	植林地	
08	水田	
09	畑	
10	グラウンド・芝地等	
11	水面	
12	市街地	
99	その他	

(5) 水域環境区分コード（魚介類、底生動物調査の項目）

コード	瀬・淵等	区分	備考
01010	瀬 (01)	平瀬 (010)	
01020		早瀬 (020)	
01021		非常に早い流れ (021)	河川調査で利用
01022		早い流れ (022)	
01023		流れがよくわかる (023)	
01030		その他 (030)	
02010	淵 (02)	S (010)	
02011		型 水深1m以下 (011)	河川調査で利用
02012		水深1～2m (012)	
02013		水深2m以上 (013)	
02020		R (020)	
02021		型 水深1m以下 (021)	河川調査で利用
02022		水深1～2m (022)	
02023		水深2m以上 (023)	
02030		M (030)	
02031		型 水深1m以下 (031)	河川調査で利用
02032		水深1～2m (032)	
02033		水深2m以上 (033)	
02040		D (040)	
02041		型 水深1m以下 (041)	河川調査で利用
02042		水深1～2m (042)	
02043		水深2m以上 (043)	
02050		O (050)	
02051		型 水深1m以下 (051)	河川調査で利用
02052		水深1～2m (052)	
02053		水深2m以上 (053)	
02060		MR型 (060)	
02061		水深1m以下 (061)	
02062		水深1～2m (062)	
02063		水深2m以上 (063)	
02070		MS型 (070)	
02071		水深1m以下 (071)	
02072		水深1～2m (072)	
02073		水深2m以上 (073)	
02080		MD型 (080)	
02081		水深1m以下 (081)	
02082		水深1～2m (082)	
02083		水深2m以上 (083)	
02090		その他 (090)	
03010	その他 (03)	ワンド (010)	
03020		湛水域 (020)	
03030		よどみ (030)	
03040		干潟 (040)	
03050		産卵場 (050)	
03060		その他 (060)	

(6) 水際部環境区分コード（魚介類、底生動物、鳥類、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫类等調査の項目）

コード	水際部の状況		備考
0101	人工構造物（01）	護岸等（01）	
0102		根固め（02）	
0103		その他（03）	
0201	自然環境（02）	植生草本（01）	
0202		植生木本（02）	
0203		その他（03）	

(7) 調査地区担当コード（全調査項目（1/25000））

調査地区の担当を判別するためのコードは以下のとおりとする。

コード	調査地区名	備考
01	当該事務所担当の調査地区	
02	他事務所担当の調査地区	
03	全体調査地区担当の調査地区	
10	事務所（地建）独自の調査地区	
20	他機関調査地区	
99	その他	

(8) 左右岸コード（全調査項目（1/2500））

左右岸コードについては以下のとおりとする。

コード	分類	備考
00	不明	
01	左岸	
02	右岸	
03	中州	
99	その他	

(9) テキスト（全調査項目（1/2500））

その他調査時に気付いたことをコメントとして記述

(10) 調査年度（全調査項目（1/25000））

調査年度は西暦4桁で以下のとおり示す。

調査年度：yyyy

(11) 調査年月日（全調査項目（1/2500））

調査年月日は西暦8桁で以下のとおり示す。

調査年月日：yyyymmdd

4.3 魚介類調査の属性

魚介類調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 魚介類調査方法コード

魚介類の調査方法を判別するためのコードは以下のとおりとする。

コード	調査方法	備考
0 1	投網	
0 2	タモ網	
0 3	定置網	
0 4	刺網	
0 5	サデ網	
0 6	はえなわ、どう	
0 7	地曳網	
0 8	玉網	
0 9	セルびん	
1 0	潜水による捕獲	
9 9	その他	

4.4 底生動物調査の属性

底生動物調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) コドラート番号

底生動物調査を実施した際のコドラート番号。

4.5 植物調査の属性

(1) 群落区分番号

群落名等に対応する区分番号。

(2) 植生図基本分類番号

群落名等に対応する基本分類番号は以下のとおりである。

基本分類 番号	基本分類	
01	沈水植物群落	
02	浮葉植物群落	
03	塩沼植物群落	
04	砂丘植物群落	
05	一年生草本群落	
06	多年生広葉草本群落	
07	本単 群子 落葉 草	ヨシ群落
08		ツルヨシ群落
09		オギ群落
10		その他の単子葉草本群落
11	ヤナギ低木林	
12	ヤナギ高木林	
13	その他の低木林	
14	落葉広葉樹林	
15	落葉針葉樹林	
16	常緑広葉樹林	
17	常緑針葉樹林	
18	植林地（竹林）	
19	植林地（スギ・ヒノキ）	
20	植林地（その他）	
21	果樹園	
22	畑	
23	水田	
24	人工草地	
25	グラウンドなど	
26	人工構造物	
27	自然裸地	
28	開放水面	
29	その他	
30	不明	

(3) コドラート番号

植物調査を実施した際のコドラート番号。

4.6 鳥類調査の属性

鳥類調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 確認番号

調査によって確認された個体または個体群の連番

(2) 集団分布地コード

コード	区域名	備考
0 1	集団繁殖地	
0 2	集団ねぐら	
0 3	集団越冬地	
0 4	渡りの中継地	
9 9	その他	

(3) 鳥類保護区分コード

コード	区域名	備考
0 1	鳥獣保護区	
0 2	鳥獣保護区の中の特別保護区	
0 3	休猟区	
0 4	猟銃禁止区域	
0 5	猟銃制限区域	
0 6	一般的鳥獣捕獲禁止区域	
9 9	その他	

(4) 特定種の名称

特定種の名称を記述する。

4.7 両生類・爬虫類・哺乳類調査の属性

両生類・爬虫類・哺乳類調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 確認形態コード

確認形態を判別するためのコードは以下のとおりである。

コード	確認形態	備考
0 1	捕獲・目撃（写真あり）	
0 2	目撃（写真なし）	
0 3	フィールドサイン（鳴き声のみも含む）	
9 9	その他	

(2) 観察 No

確認した生物毎の番号

(3) トラップ設置箇所番号

トラップ設置箇所の下流からの連番

(4) トラップ種類

シャーマントラップ、ピットフォールトラップ等のトラップ種類を記述

(5) 設置トラップ数

設置箇所毎のトラップ数を記述

4.8 陸上昆虫类等調査の属性

陸上昆虫类等調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 陸上昆虫类等調査方法コード

陸上昆虫类等の調査方法を判別するためのコードは以下のとおりとする。

コード	調査方法	備考
0 1	任意採集法	
0 2	スウィーピング法	
0 3	ライトトラップ法	
0 4	ベイトトラップ法	
0 5	ビーティング法	
0 6	ピットフォールトラップ法	
9 9	その他	

4.9 河川調査の属性

河川調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 植生状況コード

河川調査における植生を判別するためのコードは以下のとおりとする。

コード	種別		備考
0100	高木群		
0200	低木群		
0300	果樹群		
0400	高丈草本群		
0501	低丈草本群	自然植生区間	
0502		植栽区間	
0600	耕地群		
0701	裸地群	河原（砂）	
0702		河原（礫）	
0703		造成部	

(2) 魚道コード

魚道の種別を判別するためのコードは以下のとおりとする。

コード	種別	備考
01	段階式	
02	バーチカルスロット式	
03	デニール式	
04	斜路	
99	その他	

4.10 河川空間利用実態調査の属性

河川空間利用実態調査で扱われる属性レコードの記載事項を以下に示す。

(1) 設置種別コード

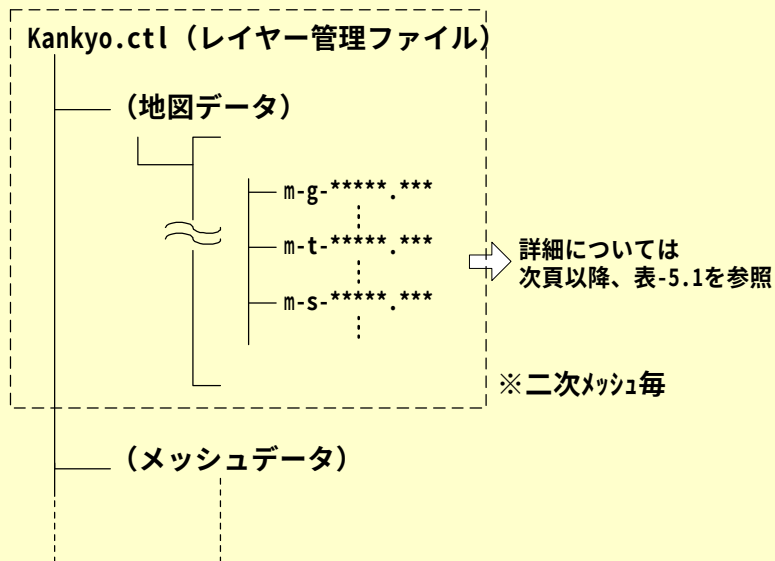
河川利用施設の種別を判別するためのコードは以下のとおりとする。

コード	種別	備考
01	公園	
02	運動場	
03	ゴルフ場	
04	係留施設	
05	遊歩道・サイクリングロード	
99	その他	

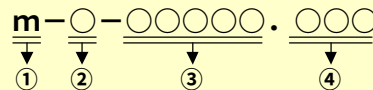
(2) 種別毎 No

流域（直轄区間）全てを含む範囲内での河川利用施設毎の連番

5. ファイルのツリー構造



※ファイル名の定義



- ①：河川環境情報地図を示すアルファベット (m)
- ②：河川環境情報調査項目を示すアルファベット
- ③：情報項目の略称
- ④：拡張子

② 調査項目を示すアルファベットの定義

- ・g- :魚介類調査
- ・t- :底生動物調査
- ・s- :植物調査
- ・c- :鳥類調査
- ・h- :両生類・爬虫類・哺乳類調査
- ・k- :陸上昆虫類等調査
- ・r- :河川調査
- ・a- :河川空間利用実態調査

④ 拡張子の定義

- .arc アーク
- .pgn ポリゴン
- .pnt 点
- .nod ノード
- .tie 接続関係
- .atr 属性 (attribute)
- .msh メッシュファイル
- .txt 図葉記述ファイル
- .ctl レイヤー管理ファイル

表－5.1 各情報項目に対応するファイル名(1)

(1) レイヤー管理ファイル

ファイル名	データの内容
kankyo.ctl	レイヤー管理ファイル

(2) 地図データ

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目（レイヤー名）	ファイル名	データの内容			
魚介類調査	1/25000	調査地区位置図 （計画様式 4）	調査地区		調査地区	m-g-cthi.k.pnt m-g-cthi.k.atr	調査地区を示す点データ 調査地区属性データ			
	1/2500	魚介類現地調査票 2 （現地調査様式 2）	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	m-g-wkbnk.arc	水域環境区分境界線を示す線データ			
					水域環境区分	m-g-wkbn.pgn	水域環境区分を示す面データ			
						m-g-wkbn.atr	水域環境区分属性データ			
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	m-g-wgkbnk.arc	水際部環境区分境界線を示す線データ			
					水際部環境区分	m-g-wgkbn.pgn	水際部環境区分を示す面データ			
						m-g-wgkbn.atr	水際部環境区分属性データ			
			現地調査箇所	調査箇所	調査箇所境界線	m-g-kashok.arc	調査箇所境界線を示す線データ			
					調査箇所	m-g-kasyo.pgn m-g-kasyo.atr	調査箇所を示す面データ 調査箇所属性データ			
					捕獲区域	捕獲区域境界線	m-g-hokui.k.arc	捕獲区域境界線を示す線データ		
				捕獲区域		m-g-hokui.pgn m-g-hokui.atr	捕獲区域を示す面データ 捕獲区域属性データ			
				捕獲地点		捕獲地点	m-g-hochtn.pnt m-g-hochtn.atr	捕獲地点を示す面データ 捕獲地点属性データ		
					撮影方向・位置	方向	撮影方向	m-g-muki.arc m-g-muki.atr	撮影方向を示す線データ 撮影方向属性データ	
			位置	撮影位置		m-g-ichi.pnt m-g-ichi.atr	撮影位置を示す点データ 撮影位置属性データ			
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-g-ngre.arc m-g-ngre.atr	川の流れの方向を示す線データ 川の流れの方向属性データ			
				コメント		コメント	m-g-cont.pnt m-g-cont.atr	コメント等を示す点データ コメント等属性データ		
			底生動物調査		1/25000	調査地区位置図 （計画様式 4）	調査地区		調査地区	m-t-cthi.k.pnt m-t-cthi.k.atr
				1/2500	底生動物現地調査票 2 （現地調査様式 2）	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	m-t-wkbnk.arc	水域環境区分境界線を示す線データ
								水域環境区分	m-t-wkbn.pgn	水域環境区分を示す面データ
									m-t-wkbn.atr	水域環境区分属性データ
	水際部環境区分	水際部環境区分境界線					m-t-wgkbnk.arc	水際部環境区分境界線を示す線データ		
		水際部環境区分					m-t-wgkbn.pgn m-t-wgkbn.atr	水際部環境区分を示す面データ 水際部環境区分属性データ		
		m-t-wgkbn.atr					水際部環境区分属性データ			
現地調査箇所	定性採集	定性採集境界線				m-t-sei sai.k.arc	定性採集境界線を示す線データ			
		定性採集				m-t-sei sai.pgn m-t-sei sai.atr	定性採集箇所を示す面データ 定性採集箇所属性データ			
		定量採集（淡水域）				定量採集境界線	m-t-trsai.k.arc	定量採集境界線を示す線データ		
	定量採集（面）					m-t-trsai.pgn m-t-trsai.atr	定量採集箇所を示す面データ 定量採集箇所属性データ			
						コドラート位置	m-t-trkodr.pnt m-t-trkodr.atr	コドラート位置を示す点データ コドラード位置属性データ		
	定量採集（汽水域）	定量採集（線）				m-t-krsai.arc m-t-krsai.atr	定量採集箇所を示す線データ 定量採集箇所属性データ			
定量採集（点）		m-t-krsai.pnt				定量採集箇所を示す点データ				
		m-t-krsai.atr				定量採集箇所属性データ				

表－5.1 各情報項目に対応するファイル名(2)

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目（レイヤー名）	ファイル名	データの内容
底生動物調査	1/2500	底生動物現地調査 2 (現地調査様式 2)	現地調査箇所	定量採集（汽水域）	コドラート位置	m-t-krkod. pnt	コドラート位置を示す点データ
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	m-t-muki. arc	撮影方向を示す線データ
						m-t-muki. atr	撮影方向属性データ
				位置	撮影位置	m-t-i chi. pnt	撮影位置を示す点データ
						m-t-i chi. atr	撮影位置属性データ
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-t-ngre. arc	川の流れの方向を示す線データ
			コメント		コメント	m-t-ngre. atr	川の流れの方向属性データ
						m-t-cont. pnt	コメント等を示す点データ
						m-t-cont. pnt	コメント等属性データ
植物調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 4)	調査地区		調査地区	m-s-chtik. pnt	調査地区を示す点データ
						m-s-chtik. atr	調査地区属性データ
	1/2500	植生図（植生図作成調査） (現地調査様式 1)	群落		群落境界線	m-s-sygun. arc	群落境界線を示す線データ
					群落	m-s-sygun. pgn	群落を示す面データ
						m-s-sygun. atr	群落属性データ
						m-s-sygun. nod	群落ノードデータ
						m-s-sygun. tie	群落接続関係データ
			コメント		コメント	m-s-cont. pnt	コメント等を示す点データ
						m-s-cont. atr	コメント等属性データ
	1/2500	植物群落組成調査票 3 (現地調査様式 5)	現地調査地点	コドラート位置	コドラート位置	m-s-gukodr. pnt	コドラート位置を示す点データ
						m-s-gukodr. atr	コドラート位置属性データ
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-s-gungre. arc	川の流れの方向を示す線データ
			コメント		コメント	m-s-gungre. atr	川の流れの方向属性データ
						m-s-gucont. pnt	コメント等を示す点データ
						m-s-gucont. atr	コメント等属性データ
	1/2500	植物相調査票 2 (現地調査様式 7)	現地調査範囲	調査地区	調査地区境界線	m-s-sotikk. arc	調査地区境界線を示す線データ
					調査地区	m-s-sotik. pgn	調査地区を示す面データ
						m-s-sotik. atr	調査地区属性データ
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	m-s-somuki. arc	撮影方向を示す線データ
						m-s-somuki. atr	撮影方向属性データ
			位置		撮影位置	m-s-soi chi. pnt	撮影位置を示す点データ
						m-s-soi chi. atr	撮影位置属性データ
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-s-songre. arc	川の流れの方向を示す線データ
			コメント		コメント	m-s-songre. atr	川の流れの方向属性データ
						m-s-socont. pnt	コメント等を示す点データ
						m-s-socont. atr	コメント等属性データ
	1/2500	植生断面調査票 2 (現地調査様式 9)	歩行ルート		歩行ルート	m-s-dnroot. arc	歩行ルートを示す線データ
						m-s-dnroot. atr	歩行ルート属性データ
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	m-s-dnmuki. arc	撮影方向を示す線データ
						m-s-dnmuki. atr	撮影方向属性データ
			位置		撮影位置	m-s-dni chi. pnt	撮影位置を示す点データ
						m-s-dni chi. atr	撮影位置属性データ
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-s-dnngre. arc	川の流れの方向を示す線データ
			コメント		コメント	m-s-dnngre. atr	川の流れの方向属性データ
						m-s-dncont. pnt	コメント等を示す点データ
						m-s-dncont. atr	コメント等属性データ
鳥類調査	1/25000	調査地区位置図 (計画様式 5)	調査地区		調査地区（点）	m-c-chtik. pnt	調査地区を示す点データ
						m-c-chtik. atr	調査地区属性データ
					調査地区（線）	m-c-chtik. arc	調査地区を示す線データ
						m-c-chtik. atr	調査地区属性データ
			集団分布地		集団分布地	m-c-bunp. pnt	集団分布地を示す点データ
						m-c-bunp. atr	集団分布地属性データ
	1/2500	鳥類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	m-c-kl kbn. arc	陸域環境区分境界線を示す線データ
					陸域環境区分	m-c-kl kbn. pgn	陸域環境区分を示す面データ
						m-c-kl kbn. atr	陸域環境区分属性データ
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	m-c-kvgkbnk. arc	水際部環境区分境界線を示す線データ

表－5.1 各情報項目に対応するファイル名(3)

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目（レイヤー名）	ファイル名	データの内容
鳥類調査	1/2500	鳥類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水際部環境区分	水際部環境区分	m-c-kwgkbn. pgn	水際部環境区分を示す面データ
					水際部環境区分属性データ	m-c-kwgkbn. atr	水際部環境区分属性データ
					水際部環境区分線	m-c-kwgkbn. arc	水際部環境区分線を示す線データ
					水際部環境区分線属性データ	m-c-kwgkbn. atr	水際部環境区分線属性データ
			確認状況		確認状況	m-c-kj kyo. pnt	確認状況を示す点データ
					確認状況属性データ	m-c-kj kyo. atr	確認状況属性データ
			調査範囲		調査範囲	m-c-khani. arc	調査範囲を示す線データ
					調査範囲属性データ	m-c-khani. atr	調査範囲属性データ
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-c-kngre. arc	川の流れの方向を示す線データ
					川の流れの方向属性データ	m-c-kngre. atr	川の流れの方向属性データ
			コメント		コメント	m-c-kcont. pnt	コメント等を示す点データ
					コメント等属性データ	m-c-kcont. pnt	コメント等属性データ
	1/2500	鳥類現地調査票 3 (現地調査様式 3)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	m-c-hl kbnk. arc	陸域環境区分境界線を示す線データ
					陸域環境区分	m-c-hl kbn. pgn	陸域環境区分を示す面データ
					陸域環境区分属性データ	m-c-hl kbn. atr	陸域環境区分属性データ
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	m-c-hwgkbnk. arc	水際部環境区分境界線を示す線データ
					水際部環境区分	m-c-hwgkbn. pgn	水際部環境区分を示す面データ
					水際部環境区分属性データ	m-c-hwgkbn. atr	水際部環境区分属性データ
					水際部環境区分線	m-c-hwgkbn. arc	水際部環境区分線を示す線データ
					水際部環境区分線属性データ	m-c-hwgkbn. atr	水際部環境区分線属性データ
			調査範囲		調査範囲	m-c-hhani. arc	調査範囲を示す線データ
					調査範囲属性データ	m-c-hhani. atr	調査範囲属性データ
			ラインセンサス法	調査定線	調査定線	m-c-hl stsen. arc	調査定線を示す線データ
					調査定線属性データ	m-c-hl stsen. atr	調査定線属性データ
				観測範囲	観測範囲境界線	m-c-hl shani k. arc	観測範囲境界線を示す線データ
					観測範囲	m-c-hl shani. pgn	観測範囲を示す面データ
			定点記録法		観測範囲属性データ	m-c-hl shani. atr	観測範囲属性データ
					調査定点	m-c-htki ch. pnt	調査定点位置を示す点データ
					調査定点位置属性データ	m-c-htki ch. atr	調査定点位置属性データ
					調査定点方向	m-c-htkmuk. arc	調査定点方向を示す線データ
					調査定点方向属性データ	m-c-htkmuk. atr	調査定点方向属性データ
				観測範囲	観測範囲境界線	m-c-htkhani k. arc	観測範囲境界線を示す線データ
					観測範囲	m-c-htkhani. pgn	観測範囲を示す面データ
					観測範囲属性データ	m-c-htkhani. atr	観測範囲属性データ
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	m-c-hmuki. arc	撮影方向を示す線データ
					撮影方向属性データ	m-c-hmuki. atr	撮影方向属性データ
				位置	撮影位置	m-c-hi chi. pnt	撮影位置を示す点データ
					撮影位置属性データ	m-c-hi chi. atr	撮影位置属性データ
			川の流れの方向		川の流れ方向	m-c-hagre. arc	川の流れ方向を示す線データ
					川の流れ方向属性データ	m-c-hagre. atr	川の流れ方向属性データ
			コメント		コメント	m-c-hcont. pnt	コメント等を示す点データ
					コメント等属性データ	m-c-hcont. atr	コメント等属性データ
	1/2500	鳥類集団分布地状況図 (現地調査様式 5)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	m-c-bl kbnk. arc	陸域環境区分境界線を示す線データ
					陸域環境区分	m-c-bl kbn. pgn	陸域環境区分を示す面データ
					陸域環境区分属性データ	m-c-bl kbn. atr	陸域環境区分属性データ
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	m-c-bwgkbnk. arc	水際部環境区分境界線を示す線データ
					水際部環境区分	m-c-bwgkbn. pgn	水際部環境区分を示す面データ
					水際部環境区分属性データ	m-c-bwgkbn. atr	水際部環境区分属性データ
				水際部環境区分線	水際部環境区分線	m-c-bwgkbn. arc	水際部環境区分線を示す線データ
					水際部環境区分線属性データ	m-c-bwgkbn. atr	水際部環境区分線属性データ
			集団分布地		集団分布地境界線	m-c-bbunpk. arc	集団分布地境界線を示す線データ
					集団分布地	m-c-bbunp. pgn	集団分布地を示す面データ
					集団分布地属性データ	m-c-bbunp. atr	集団分布地属性データ

表－5.1 各情報項目に対応するファイル名(4)

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目（レイヤー名）	ファイル名	データの内容			
鳥類調査	1/2500	鳥類集団分布地状況図 （現地調査様式 5）	川の流れの方向		川の流れの方向	m-c-bngre. arc	川の流れの方向を示す線データ			
			コメント		コメント	m-c-bngre. atr m-c-bcont. pnt m-c-bcont. atr	川の流れの方向属性データ コメント等を示す点データ コメント等属性データ			
		1/25000	鳥類集団分布地および 特定種確認位置図 （現地調査様式 6）	集団分布地確認場所		集団分布地確認場所	m-c-tkbunp. pnt m-c-tkbunp. atr	集団分布地確認場所を示す点データ 集団分布地確認場所属性データ		
				特定種位置		特定種位置	m-c-tktki ch. pnt m-c-tktki ch. atr	特定種位置を示す点データ 特定種位置属性データ		
				鳥獣の狩猟および保護に 関する区域		鳥獣の狩猟および保護に関する 区域境界線	m-c-tkshkk. arc	鳥獣の狩猟および保護に関する区域境界線を示す 線データ		
						鳥獣の狩猟および保護に関する区域	m-c-tkshk. pgn	鳥獣の狩猟および保護に関する区域を示す面データ		
	両生類・爬虫類・哺乳類	1/25000	調査地区位置図 （計画様式 4）	調査地区		調査地区	m-c-tkshk. atr m-h-fchti k. pnt m-h-fchti k. atr	鳥獣の狩猟および保護に関する区域属性データ 調査地区を示す点データ 調査地区属性データ		
				1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類 目撃法・フィールドサイン法 調査票 2 （現地調査様式 2）	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線 陸域環境区分	m-h-flkbnk. arc m-h-flkbn. arc m-h-flkbn. atr	陸域環境区分境界線を示す線データ 陸域環境区分を示す面データ 陸域環境区分属性データ
		水際部環境区分	水際部環境区分境界線 水際部環境区分 水際部環境区分線				m-h-fwgkbnk. arc m-h-fwgkbn. pgn m-h-fwgkbn. atr m-h-fwgkbn. arc m-h-fwgkbn. atr	水際部環境区分境界線を示す線データ 水際部環境区分を示す面データ 水際部環境区分属性データ 水際部環境区分線を示す線データ 水際部環境区分線属性データ		
			観察内容					確認形態	m-h-fkakni n. pnt m-h-fkakni n. atr	確認形態を示す面データ 確認形態属性データ
			撮影方向・位置				方向	撮影方向	m-h-fmuki. arc m-h-fmuki. atr	撮影方向を示す線データ 撮影方向属性データ
		位置				撮影位置	m-h-fi chi. pnt m-h-fi chi. atr	撮影位置 撮影位置属性データ		
川の流れの方向		川の流れの方向	m-h-fngre. arc m-h-fngre. atr			川の流れの方向を示す線データ 川の流れの方向属性データ				
	コメント		コメント			m-h-fcont. pnt m-h-fcont. atr	コメント等を示す点データ コメント等属性データ			
	両生類・爬虫類・哺乳類	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類 トラップ法調査票 2 （現地調査様式 4）			環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線 陸域環境区分	m-h-tl kbnk. arc m-h-tl kbn. pgn m-h-tl kbn. atr	陸域環境区分境界線を示す線データ 陸域環境区分を示す面データ 陸域環境区分属性データ
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線 水際部環境区分 水際部環境区分線		m-h-twgkbnk. arc m-h-twgkbn. pgn m-h-twgkbn. atr m-h-twgkbn. arc m-h-twgkbn. atr	水際部環境区分境界線を示す線データ 水際部環境区分を示す面データ 水際部環境区分属性データ 水際部環境区分線を示す線データ 水際部環境区分線属性データ		
トラップ設置箇所							トラップ設置箇所境界線 トラップ設置箇所	m-h-ttri chk. arc m-h-ttri ch. pgn m-h-ttri ch. atr	トラップ設置箇所境界線を示す線データ トラップ設置箇所を示す面データ トラップ設置箇所属性データ	
撮影方向・位置					方向		撮影方向	m-h-tmuki. arc m-h-tmuki. atr	撮影方向を示す線データ 撮影方向属性データ	
				位置	撮影位置	m-h-ti chi. pnt m-h-ti chi. atr	撮影位置を示す点データ 撮影位置属性データ			
川の流れの方向					川の流れの方向	m-h-tngre. arc m-h-tngre. atr	川の流れの方向を示す線データ 川の流れの方向属性データ			
		コメント		コメント	m-h-tcont. pnt m-h-tcont. atr	コメント等を示す点データ コメント等属性データ				
陸上昆虫類等調査		1/25000	調査地区位置図 （計画様式 4）	調査地区		調査地区	m-k-chti k. pnt m-k-chti k. atr	調査地区を示す点データ 調査地区属性データ		
		1/2500	陸上昆虫類等現地調査票 2 （現地調査様式 2）	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	m-k-lkbnk. arc	陸域環境区分境界線を示す線データ		

表－5.1 各情報項目に対応するファイル名(5)

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目（レイヤー名）	ファイル名	データの内容
陸上昆虫類等調査	1/2500	陸上昆虫類等現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分	m-k-lkbn.pgn	陸域環境区分を示す面データ
					陸域環境区分属性データ	m-k-lkbn.atr	陸域環境区分属性データ
			水際部環境区分	水際部環境区分境界線 水際部環境区分 水際部環境区分線	水際部環境区分境界線	m-k-wgkbnk.arc	水際部環境区分境界線を示す線データ
					水際部環境区分	m-k-wgkbn.pgn	水際部環境区分を示す面データ
					水際部環境区分属性データ	m-k-wgkbn.atr	水際部環境区分属性データ
					水際部環境区分線	m-k-wgkbn.arc	水際部環境区分線を示す線データ
					水際部環境区分線属性データ	m-k-wgkbn.atr	水際部環境区分線属性データ
			調査実施状況	任意採集法区域	任意採集法区域境界線	m-k-nszonek.arc	任意採集法区域境界線を示す線データ
					任意採集法区域	m-k-nszone.pgn	任意採集法区域を示す面データ
					任意採集法区域属性データ	m-k-nszone.atr	任意採集法区域属性データ
				任意採集法以外の実施箇所	任意採集法以外の実施箇所	m-k-nnsksho.pnt	任意採集法以外の実施箇所を示す点データ
					任意採集法以外の実施箇所属性データ	m-k-nnsksho.atr	任意採集法以外の実施箇所属性データ
			撮影方向・位置	方向	撮影方向	m-k-muki.arc	撮影方向を示す線データ
					撮影方向属性データ	m-k-muki.atr	撮影方向属性データ
			位置	位置	撮影位置	m-k-ichi.pnt	撮影位置を示す点データ
					撮影位置属性データ	m-k-ichi.atr	撮影位置属性データ
			川の流れの方向		川の流れの方向	m-k-ngre.arc	川の流れの方向を示す線データ
					川の流れの方向属性データ	m-k-ngre.atr	川の流れの方向属性データ
			コメント		コメント	m-k-cont.pnt	コメント等を示す点データ
					コメント等属性データ	m-k-cont.atr	コメント等属性データ
河川調査	1/2500	河川調査総括図	水域の調査結果	水域環境区分	水域環境区分境界線	m-r-wkbnk.arc	水域環境区分境界線を示す線データ
					水域環境区分	m-r-wkbn.pgn	水域環境区分を示す面データ
			境界域の調査結果	池および湧水の分布	池境界線	m-r-ki-kek.arc	池境界線を示す線データ
					池	m-r-ki-ke.pgn	池の分布を示す面データ
					池の分布属性データ	m-r-ki-ke.atr	池の分布属性データ
					湧水境界線	m-r-kyusui.k.arc	湧水境界線を示す線データ
					湧水	m-r-kyusui.pgn	湧水の分布を示す面データ
					湧水の分布属性データ	m-r-kyusui.atr	湧水の分布属性データ
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	m-r-kwgkbnk.arc	水際部環境区分境界線を示す線データ
					水際部環境区分	m-r-kwgkbn.pgn	水際部環境区分を示す面データ
					水際部環境区分属性データ	m-r-kwgkbn.atr	水際部環境区分属性データ
					水際部環境区分線	m-r-kwgkbn.arc	水際部環境区分線を示す線データ
					水際部環境区分線属性データ	m-r-kwgkbn.atr	水際部環境区分線属性データ
			流入支川・排水の分布	流入支川・排水境界線 流入支川・排水	流入支川・排水境界線	m-r-kshai.k.arc	流入支川・排水境界線を示す線データ
					流入支川・排水	m-r-kshai.pgn	流入支川・排水の分布を示す面データ
					流入支川・排水属性データ	m-r-kshai.atr	流入支川・排水の分布属性データ
			陸域の調査結果		植生分布境界線	m-r-lsbunpk.arc	植生分布境界線を示す線データ
					植生分布	m-r-lsbunp.pgn	植生分布を示す面データ
			横断工作物の調査結果	魚道	植生分布属性データ	m-r-lsbunp.atr	植生分布属性データ
					魚道境界線	m-r-kygdk.arc	魚道境界線を示す線データ
					魚道	m-r-kygd.pgn	魚道を示す面データ
					魚道属性データ	m-r-kygd.atr	魚道属性データ
河川空間利用実態調査	1/25000	河川利用施設位置図			河川利用施設位置	m-a-si-setu.pnt	河川利用施設位置を示す点データ
						m-a-si-setu.atr	河川利用施設位置属性データ

(3) 図葉記述ファイル

ファイル名	データの内容
○○○○○○.txt	当該図葉に関する各種情報データ

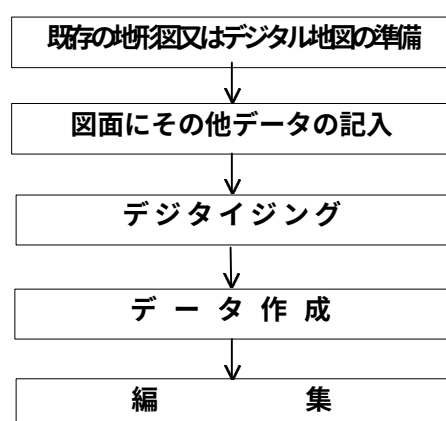
Ⅲ．河川環境情報地図データ作成作業 項目別データ取得基準細則（別記－２）

１．各項目に共通する事項

データ取得は、マップデジタイズまたはデジタルマッピングにより行う。

（総 説）

- ① 各データは、マップデジタイズまたはデジタルマッピングにより取得を行う。なお、既存のデジタル地図が存在する場合はこれを利用する。
- ② 河川環境情報地図データは、概ね $1/2,500$ レベルの精度で入力を行うが、調査地区等の流域単位の位置を取得する河川環境情報地図データについては、 $1/25,000$ レベルの精度で入力を行う。
- ③ 河川環境情報地図データは全て UTM 座標系で取得するものとし、標準地域メッシュの二次メッシュを単位としてデータを格納する。
- ④ 河川環境情報地図データ作成は、原則として既存の地形図またはデジタル地図から作成する流域背景データの図面出力上に、各データをプロットし、これをデジタイズして取得する。取得時に河川管理者の判断等が必要となる場合には、協議により取得方法を決定する。

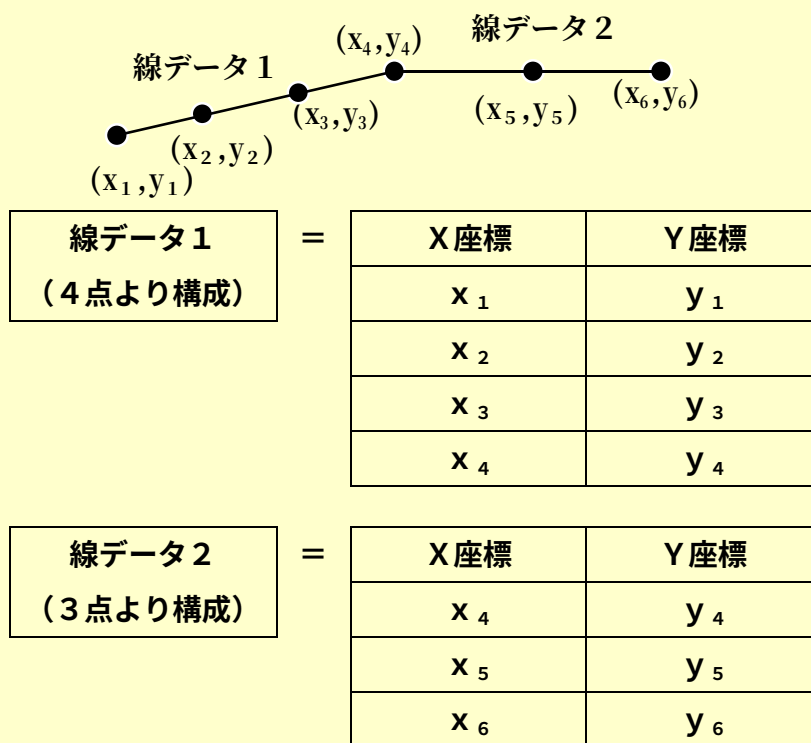


⑤ 形状データのデジタイズ方法の原則は、以下のとおりとする。

点データ：中心点の座標を取得する。

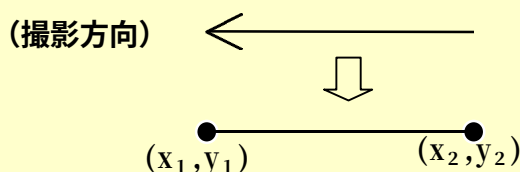
線データ：現況河道などの河川に関わるデータは、原則として下流から上流に向かって取得する。

端点は重複して取得し、同一座標とする。



なお、川の流れの向きを示す矢印は、線データとして下流から上流に向かって取得する。

撮影方向を示す矢印に関しては、矢先を始点として取得を行う。



面データ：ポリゴンデータは原則として右回りで取得し、終点は始点と同一座標とする。

⑥ 属性データは形状データとリンクさせて、各々の属性データを取得する。

(形状データのリンク方法)

- ⑦ 線データが異なる情報項目（以降レイヤー）の点データのみから形成される場合および同一の線形状を持つレイヤーについては、基準となるレイヤーの座標入力を行い、得られた座標値を用いて他レイヤーの形状データを作成する。

従って、下記のデータに限り、座標データは重複して持つこととなる。

- 線データが点データのみから形成されるレイヤー ⇒ 点データを座標入力し、これ

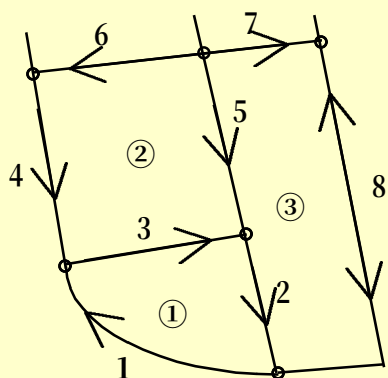
を用いて線データを作成する。

- ・ 同一の線データを持つレイヤー ⇒ どちらか一方のレイヤーで座標入力し、他方には同一の座標を持たせる。
- ⑧ 面データが他レイヤーの線データポリゴン認識して形成される場合は、互いにリンクさせることとし、座標データを重複して持たない。線データと面データがリンクするレイヤーは以下のとおりである。
- ・ 線データと面データがリンクするレイヤー ⇒ 線データを座標入力し、リンクさせて面データも認識させる。

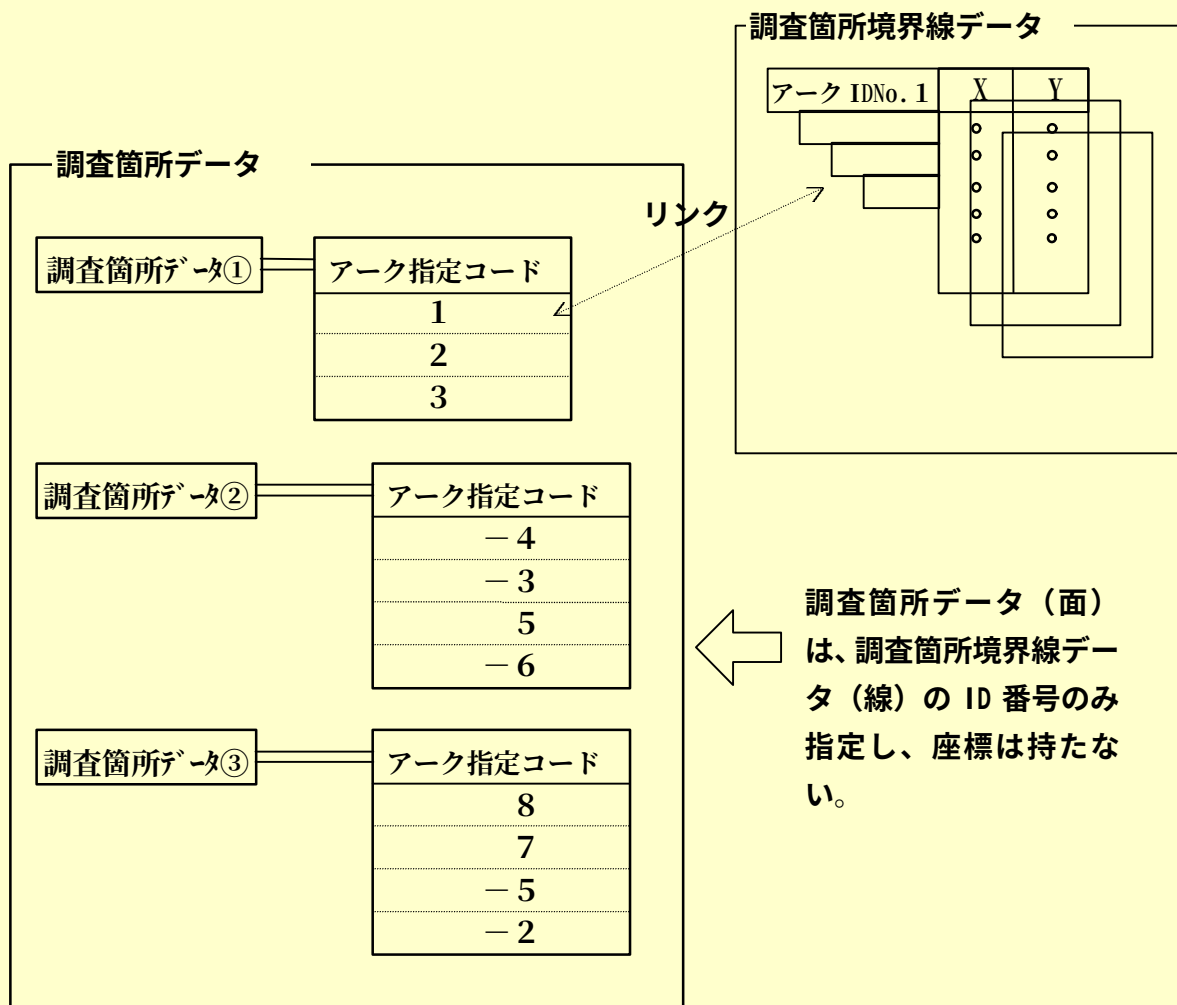
河川環境情報地図データにおける線データと面データがリンクするレイヤーは、次表に示すとおりである。

〈河川環境情報地図（主題データ）〉

調査項目	縮尺	大分類	中分類	小分類	情報項目 (レイヤー名)	図式分類コード	形状 種別	属 性 名 称
魚介類調査	1/2500	魚介類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	WL1221	線	—
				水域環境区分	水域環境区分	WA1222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			現地調査箇所	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL1231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA1232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				調査箇所	調査箇所境界線	WL1241	線	—
				調査箇所	調査箇所	WA1242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				捕獲区域	捕獲区域境界線	WL1243	線	—
底生動物調査	1/2500	底生動物現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	水域環境区分	水域環境区分境界線	WL2221	線	—
				水域環境区分	水域環境区分	WA2222	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			現地調査箇所	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL2231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA2232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				定性採集	定性採集境界線	WL2241	線	—
				定性採集	定性採集	WA2242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				定量採集（淡水域）	定量採集境界線	WL2243	線	—
植物調査	1/2500	補生図（補生図作成調査） (現地調査様式 1)	群落		群落境界線	WL3241	線	—
		植物相調査票 2 (現地調査様式 7)	現地調査範囲	調査地区	調査地区境界線	WL3441	線	—
	1/2500	植物相調査票 2 (現地調査様式 7)	調査地区	調査地区	調査地区	WA3442	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日
				調査地区	調査地区	WA3442	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日
鳥類調査	1/2500	鳥類現地調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL4211	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA4212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
	1/2500	鳥類現地調査票 3 (現地調査様式 3)	環境区分	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL4231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA4232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL4311	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA4312	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL4331	線	—
			ラインセンサス法	水際部環境区分	水際部環境区分	WA4332	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				観測範囲	観測範囲境界線	WL4343	線	—
				観測範囲	観測範囲	WA4344	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
				観測範囲	観測範囲境界線	WL4347	線	—
				観測範囲	観測範囲	WA4348	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日
			環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL4411	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA4412	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL4431	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA4432	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
				集団分布地境界線	集団分布地境界線	WL4441	線	—
			集団分布地	集団分布地	集団分布地	WA4442	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、集団分布地コード
				鳥獣の狩猟および保護に関する区域	鳥獣の狩猟および保護に関する区域境界線	WL4543	線	—
	1/25000	鳥獣集団分布地および特定 種確認位置図 (現地調査様式 6)		鳥獣の狩猟および保護に関する区域	鳥獣の狩猟および保護に関する区域	WA4544	面	河川コード、調査地区番号、調査年度、鳥獣保護区分コード
両生類・爬虫類・ 哺乳類調査	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類目 撃法・フィールドサイン法 調査票 2 (現地調査様式 2)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL5211	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA5212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			水際部環境区分	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL5231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA5232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
	1/2500	両生類・爬虫類・哺乳類ト ラップ法調査票 2 (現地調査様式 4)	環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL5311	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA5312	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			水際部環境区分	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL5331	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA5332	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
陸上昆虫類等調査	1/2500	陸上昆虫類等現地調査票 2 (現地調査様式 2)	トラップ設置箇所	トラップ設置箇所境界線	トラップ設置箇所境界線	WL5341	線	—
				トラップ設置箇所	トラップ設置箇所	WA5342	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年月日、トラップ設置箇所番号、トラップ種類、設置トラップ数
			環境区分	陸域環境区分	陸域環境区分境界線	WL6211	線	—
				陸域環境区分	陸域環境区分	WA6212	面	河川コード、調査地区番号、陸域環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			水際部環境区分	水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL6231	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA6232	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年月日
			調査実施状況	任意採集法区域	任意採集法区域境界線	WL6241	線	—
				任意採集法区域	任意採集法区域	WA6242	面	河川コード、調査地区番号、調査箇所番号、左右岸コード、調査年月日、陸上昆虫類等調査方法コード
河川調査	1/2500	河川調査総括図	水域の調査結果	水域環境区分	水域環境区分境界線	WL7141	線	—
				水域環境区分	水域環境区分	WA7142	面	河川コード、調査地区番号、水域環境区分コード、調査年度
			境界線の調査結果	池および湧水の分布	池境界線	WL7144	線	—
				池	池	WA7145	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度
				湧水	湧水境界線	WL7146	線	—
				湧水	湧水	WA7147	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度
				水際部環境区分	水際部環境区分境界線	WL7148	線	—
				水際部環境区分	水際部環境区分	WA7149	面	河川コード、調査地区番号、水際部環境区分コード、左右岸コード、調査年度
				流入支川・排水の分布	流入支川・排水境界線	WL7151	線	—
				流入支川・排水	流入支川・排水	WA7152	面	河川コード、調査地区番号、左右岸コード、調査年度
			陸域の調査結果	植生分布境界線	植生分布境界線	WL7153	線	—
				植生分布	植生分布	WA7154	面	河川コード、調査地区番号、植生状況コード、左右岸コード、調査年度
			横断工作物の調査結果	魚道	魚道境界線	WL7155	線	—
				魚道	魚道	WA7156	面	河川コード、調査地区番号、魚道コード、左右岸コード、調査年度



1～8：調査箇所境界線データ（線）のID番号
 ←：調査箇所境界線データ（線）のデータ取得方向
 ①～③：調査箇所データ（面）のID番号



調査箇所境界線データ（線）と調査箇所データ（面）のリンクの例

2. 魚介類調査

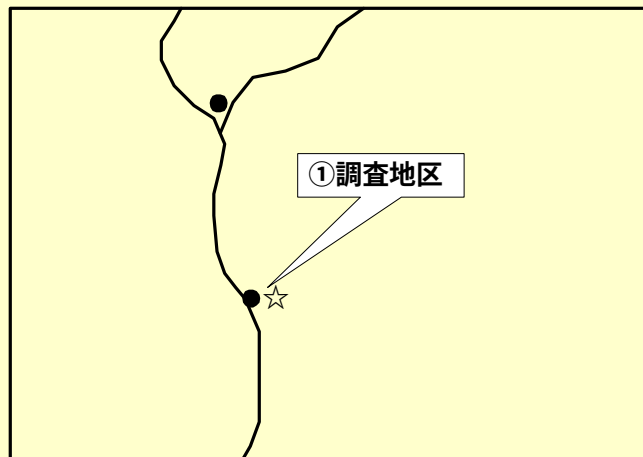
(1) 調査地区位置

調査地区は、調査地区位置図（計画様式4）を参照し、それぞれ点データとして取得する。

① 調査地区

調査地点を、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、調査地点の中心点とする。



(2) 魚介類現地調査箇所

魚介類現地調査箇所は、魚介類現地調査票2（現地調査様式2）を参照し、それぞれ捕獲地点データを取得する。

① 水域環境区分

水域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は、水域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水域環境区分とする。

② 水際部環境区分

- 水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- 水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③ 調査箇所

調査箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
調査箇所境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して調査箇所を取得する。

④捕獲区域（投網を除く）

調査地点は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、捕獲区域境界線を線データとして取得し、これをポリゴンデータ化して捕獲区域とする。

⑤捕獲地点（投網）

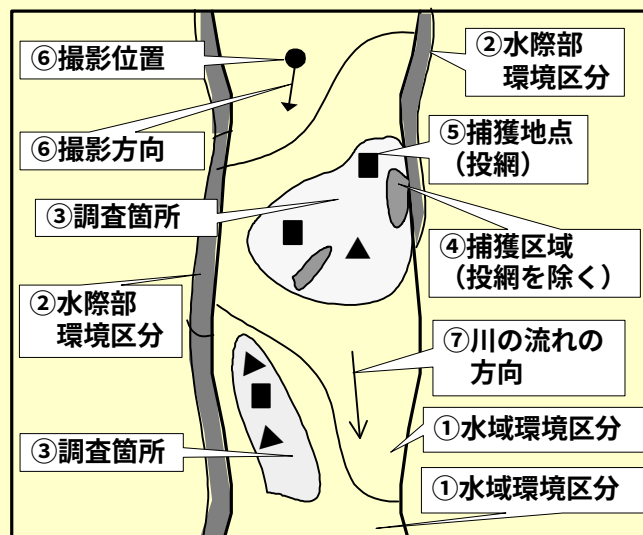
捕獲地点は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、捕獲地点を点データとして取得する。

⑥撮影方向、位置

撮影方向、位置を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。撮影位置は点データとして取得し、撮影方向は線データとして取得する。

⑦川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。川の流れの方向は線データとして取得する。



3. 底生動物調査

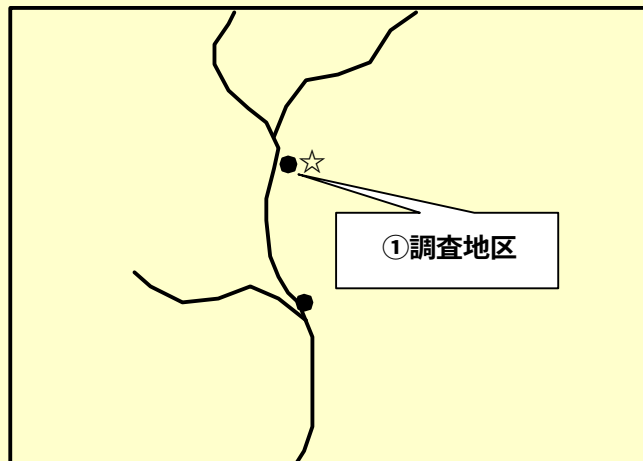
(1) 調査地区位置

調査地区位置は、調査地区位置図（計画様式 4）を参照し、それぞれ点データとして取得する。

① 調査地区

調査地点を、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、調査地点の中心点とする。



(2) 底生動物現地調査（淡水域）

底生動物現地調査箇所は、底生動物現地調査票 2（現地調査様式 2）を参照し、それぞれ採集地点データを取得する。

① 水域環境区分

水域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は、水域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水域環境区分とする。

② 水際部環境区分

- 水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- 水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③ 定性採集

定性採集箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、定性採集箇所は定性採集境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して定性採集とする。

④定量採集（面）

定量採集箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、定量採集箇所は定量採集境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して定量採集とする。

⑤コドラート位置

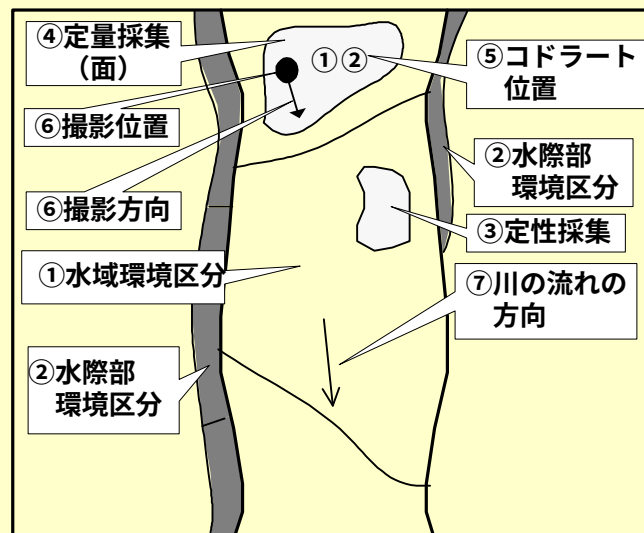
定量採集を実施した調査箇所については、1/2500 地形図（河道平面図等）にコドラート位置を記入し、これをデジタイズする。また、コドラート位置は点データとして取得する。

⑥撮影方向、位置

撮影方向、位置を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。撮影位置は点データとして取得し、撮影方向は線データとして取得する。

⑦川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。川の流れの方向は線データとして取得する。



(3)底生動物現地調査（汽水域）

底生動物現地調査箇所は、底生動物現地調査票 2（現地調査様式 2）を参照し、それぞれ採集地点データを取得する。

①水域環境区分

水域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、水域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水域環境区分とする。

②水際部環境区分

- ・水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- ・水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③定性採集

定性採集箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、定性採集箇所は定性採集境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して定性採集とする。

④定量採集（線）

定量採集箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、定量採集箇所は定量採集（線）を線データとして取得する。

⑤定量採集（点）

定量採集箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、定量採集箇所は定量採集（点）を点データとして取得する。

⑥コドラート位置

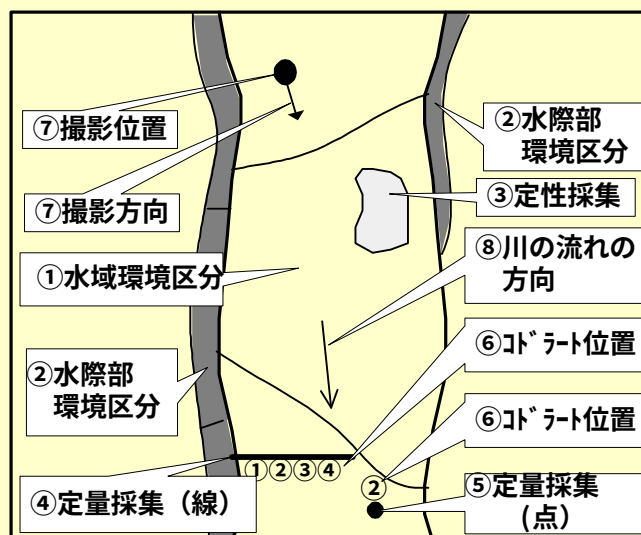
定量採集を実施した調査箇所については、1/2500 地形図（河道平面図等）にコドラート位置を記入し、これをデジタイズする。また、コドラート位置は点データとして取得する。

⑦撮影方向、位置

撮影方向、位置を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。撮影位置は点データとして取得し、撮影方向は線データとして取得する。

⑧川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
川の流れの方向は線データとして取得する。



4. 植物調査

(1) 調査地区位置

調査地区は、調査地区位置図（計画様式 4）を参照し、それぞれ点データとして取得する。

① 調査地区

調査地点を、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、調査地点を点データとして取得する。

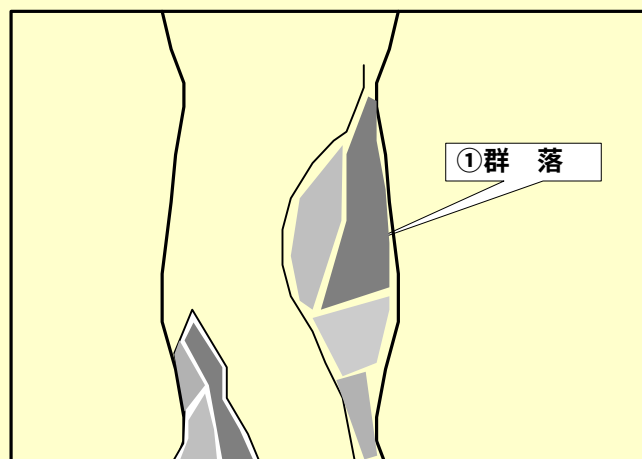


(2) 植生図

植生図は、植生図（現地調査様式 1）を参照し、群落名ごとの範囲をポリゴンデータとして取得する。

① 群落

群落範囲を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得範囲は、群落ごとの範囲を線データとして取得し、これをポリゴン化して群落を取得する。



(3)現地調査地点（群落組成調査）

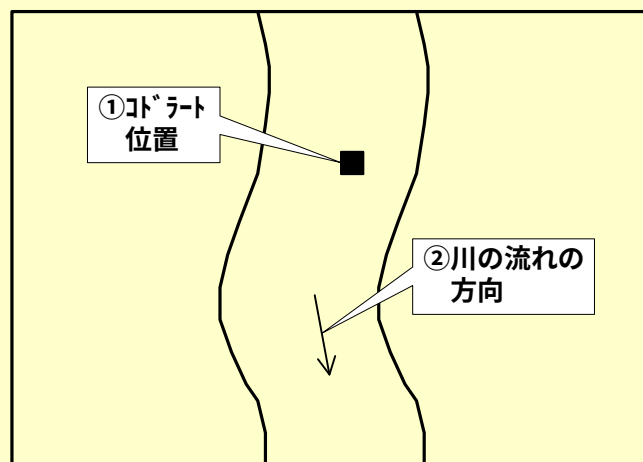
現地調査地点は、群落組成調査票3（現地調査様式5）を参照し、それぞれ採集地点データを取得する。

①コドラート位置

群落組成調査におけるコドラート位置は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得地点は、確認地点を点データとして取得する。

②川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。川の流れの方向は線データとして取得する。



(4)現地調査範囲（植物相調査）

現地調査範囲は、植物相調査票 2（現地調査様式 7）を参照し、調査範囲をポリゴンデータとして取得する。

①現地調査範囲

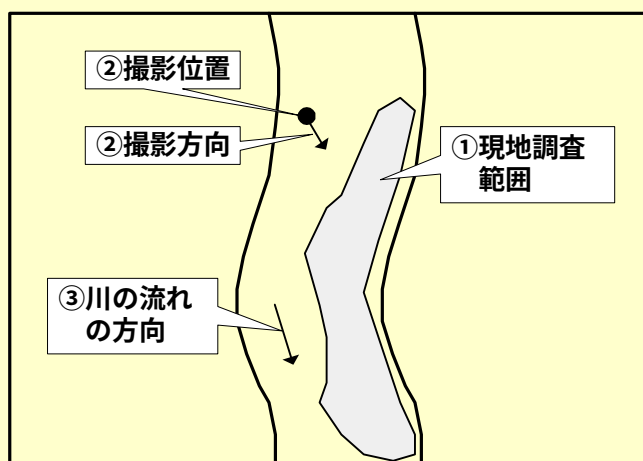
現地調査範囲は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、現地調査範囲は調査地区境界線を線データとして取得し、ポリゴン化して範囲を取得する。

②撮影方向、位置

撮影方向、位置を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
撮影位置は点データとして取得し、撮影方向は線データとして取得する。

③川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
川の流れの方向は線データとして取得する。



(5) 植生断面調査

植生断面は、植生断面調査票 2（現地調査様式 9）を参照し、それぞれ歩行ルートデータを取得する。

① 歩行ルート

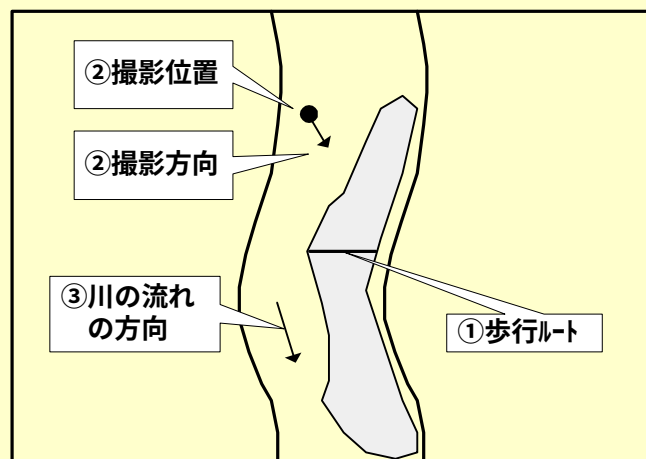
歩行ルートは 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、歩行ルートは線データとして取得する。

② 撮影方向、位置

撮影方向、位置を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。撮影位置は点データとして取得し、撮影方向は線データとして取得する。

③ 川の流れる方向

川の流れる方向を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。川の流れる方向は線データとして取得する。



5. 鳥類調査

(1) 調査地区位置

調査地区及び集団分布地は、調査地区位置図（計画様式5）を参照し、それぞれ線データまたは点データとして取得する。

①調査地区（点）

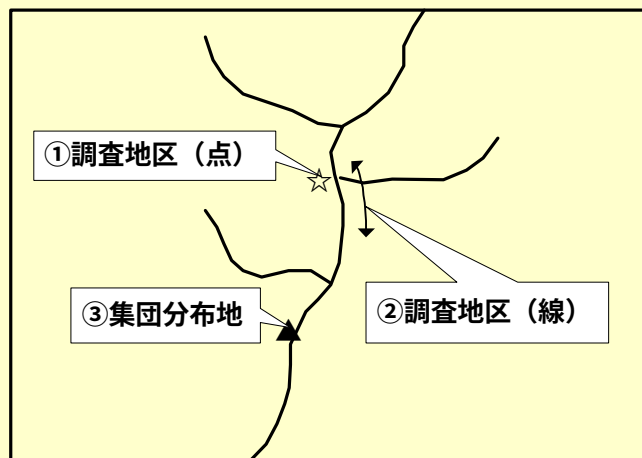
各調査地区を、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、調査地区の中心点とし、点データを取得する。

②調査地区（線）

各調査地区を 1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は調査地区を線として取得する。

③集団分布地

集団分布地を 1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は集団分布地を点として取得する。



(2) 鳥類現地調査（確認状況等）

鳥類現地調査の各調査箇所は、鳥類現地調査票 2（現地調査様式 2）を参照し、それぞれ点または線データとして取得する。

① 陸域環境区分

陸域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は、陸域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して陸域環境区分とする。

② 水際部環境区分

- 水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- 水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③ 確認状況

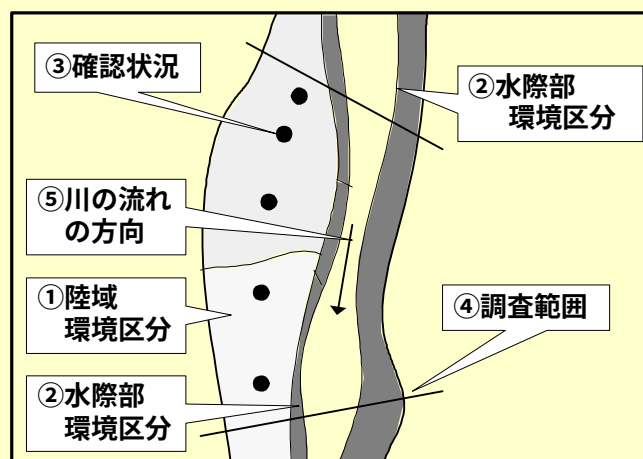
確認状況を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、調査地区の中心点とし、点データとして取得する。

④ 調査範囲

調査範囲を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、調査範囲の上下流端を線データとして取得する。

⑤ 川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は流れの方向を線データとして取得する。



(3) 鳥類現地調査（ラインセンサス法、定点記録法等）

鳥類現地調査の各調査箇所は、鳥類現地調査票 3（現地調査様式 3）を参照し、それぞれ点、線またはポリゴンデータとして取得する。

① 陸域環境区分

陸域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は、陸域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して陸域環境区分とする。

② 水際部環境区分

- ・ 水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- ・ 水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③ 調査範囲

調査範囲を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、調査範囲の上下流端を線データとして取得する。

④ ラインセンサス法

調査定線を、1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、調査定線を線データとして取得する。
観測範囲を、1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、観測範囲境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化として観測範囲を取得する。

⑤ 定点記録法

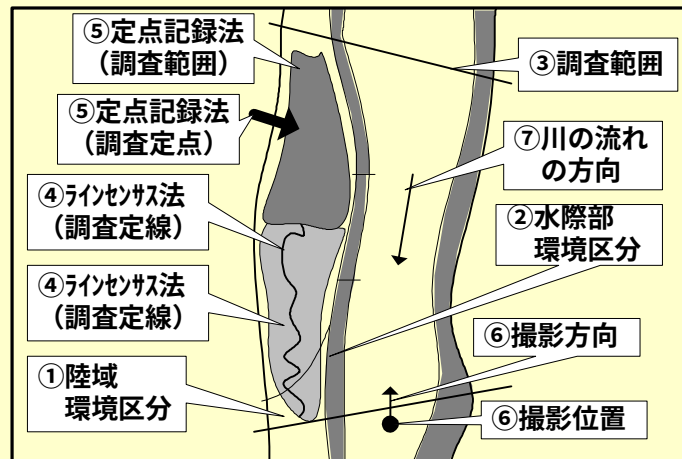
調査定点の位置と方向を、1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
調査定点位置は、点データとして取得する。
調査定点方向は、線データとして取得する。
観測範囲を、1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は、観測範囲境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して観測範囲を取得する。

⑥ 撮影方向・位置

撮影方向と位置を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は方向を線データ、位置を点データとして取得する。

⑦川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は流れの方向を線データとして取得する。



(4) 鳥類集団分布地状況

鳥類集団分布地状況は、鳥類集団分布地状況図（現地調査様式5）を参照し、分布範囲をポリゴンデータとして取得する。

① 陸域環境区分

陸域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、陸域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して陸域環境区分とする。

② 水際部環境区分

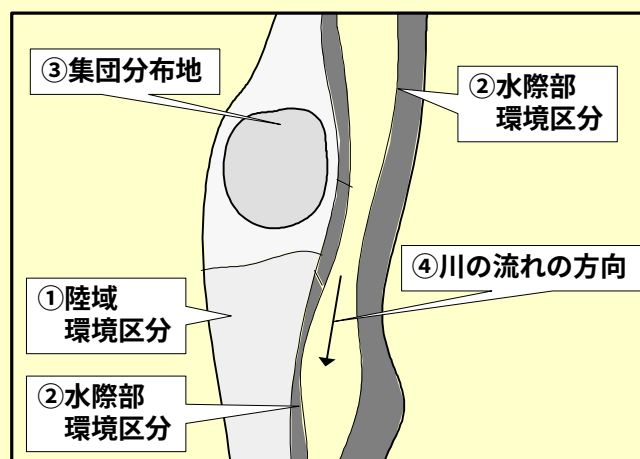
- ・ 水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- ・ 水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③ 集団分布地

集団分布地は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得範囲は、集団分布地境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して範囲を取得する。

④ 川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。取得位置は流れの方向を線データとして取得する。



(5) 鳥類集団分布地及び特定種確認位置

鳥類集団分布地、特定種位置、鳥獣の狩猟および保護に関する区域は、鳥類集団分布地および特定種確認位置図（現地調査様式6）を参照し、確認場所または区域を点またはポリゴンデータとして取得する。

① 集団分布地確認場所

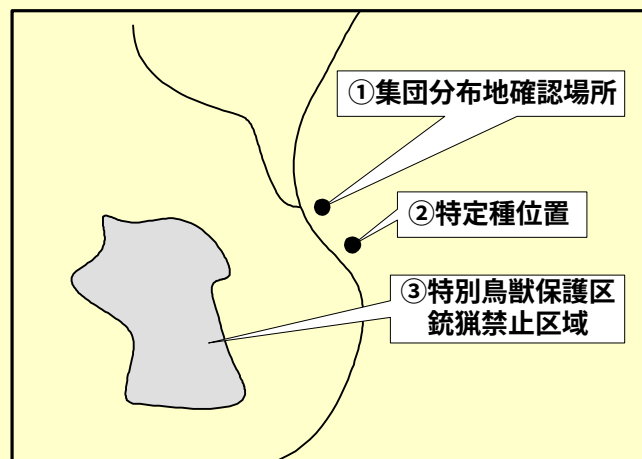
集団分布地確認場所は、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、確認地点を点データとして取得する。

② 特定種位置

特定種確認場所は、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、確認地点を点データとして取得する。

③ 特別鳥獣保護区銃猟禁止区域

特別鳥獣保護区、銃猟禁止区域などの鳥獣の狩猟および保護に関する区域は、1/25000 地形図に記入し、区域境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化として区域を取得する。



6. 両生類・爬虫類・哺乳類調査

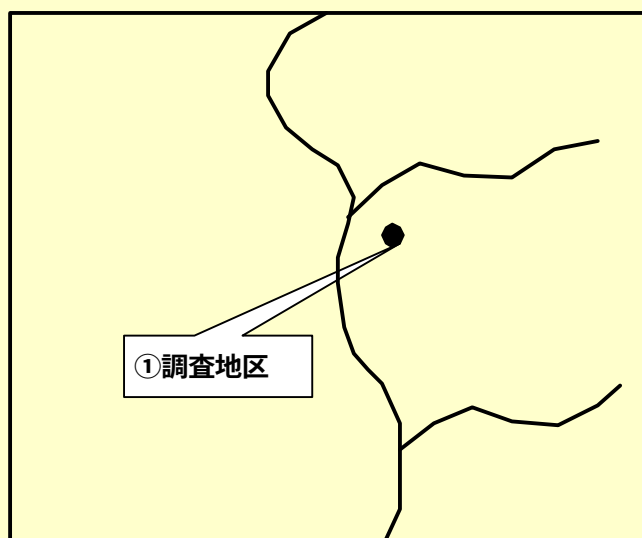
(1) 調査地区位置

調査地区は、調査地区位置図（計画様式4）を参照し、それぞれ点データとして取得する。

① 調査地区

各調査地区を、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、調査地区の中心点とし、点データを取得する。



(2) 目撃法・フィールドサイン法

目撃法・フィールドサイン法により確認された場所は、目撃法・フィールドサイン法調査票 2（現地調査様式 2）を参照し、それぞれの採取地点データを取得する。

① 陸域環境区分

陸域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は、陸域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して陸域環境区分とする。

② 水際部環境区分

- ・ 水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- ・ 水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③ 確認形態

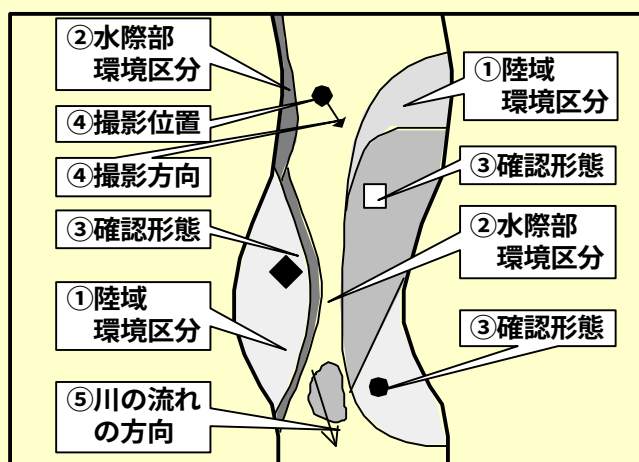
確認形態は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は、確認形態を点データとして取得する。

④ 撮影方向・位置

撮影方向と位置を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。取得位置は方向を線データ、位置を点データとして取得する。

⑤ 川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。取得位置は流れの方向を線データとして取得する。



(3)トラップ法調査

トラップ法により設置された場所は、トラップ法調査票2（現地調査様式4）を参照し、設置箇所をポリゴンデータとして取得する。

①陸域環境区分

陸域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は、陸域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して陸域環境区分とする。

②水際部環境区分

- ・水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- ・水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③トラップ設置箇所

トラップ設置箇所は1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、トラップ設置箇所境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化してトラップ設置箇所を取得する。

④撮影方向・位置

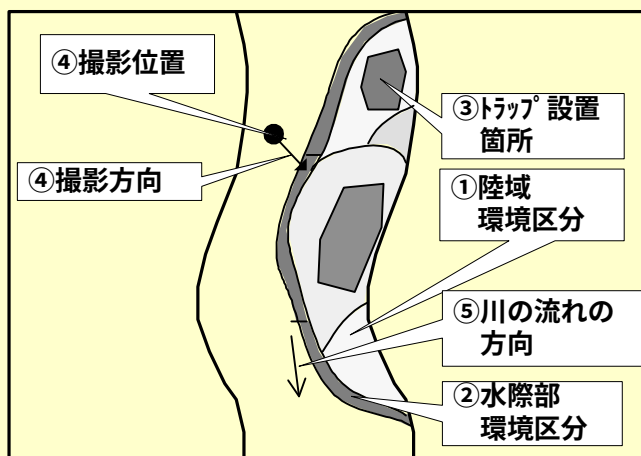
撮影方向と位置を1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は方向を線データ、位置を点データとして取得する。

⑤川の流れの方向

川の流れの方向を1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は流れの方向を線データとして取得する。



7. 陸上昆虫類等調査

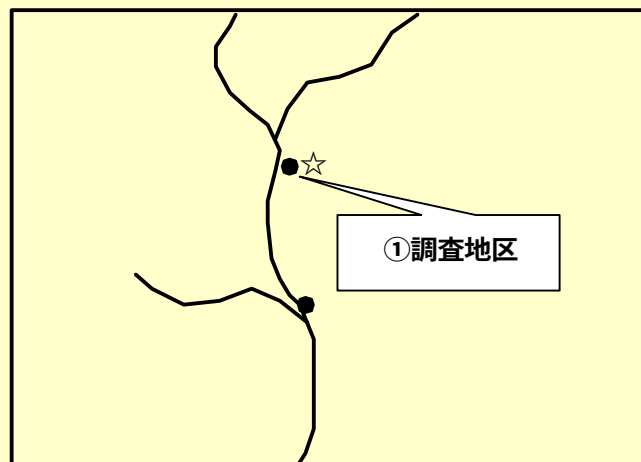
(1) 調査地区位置

調査地区は、調査地区位置図（計画様式4）を参照し、それぞれ点データとして取得する。

① 調査地区

各調査地区を、1/25000 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、調査地区の中心点とし、点データとして取得する。



(2)陸上昆虫類等現地調査

陸上昆虫類等現地調査地点は、現地調査票 2（現地調査様式 2）を参照し、それぞれの採集地点データを取得する。

①陸域環境区分

陸域環境区分は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は、陸域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して陸域環境区分とする。

②水際部環境区分

- ・水際部環境区分を面として取得する場合
水際部環境区分は 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は水際部環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水際部環境区分とする。
- ・水際部環境区分を線として取得する場合
水際部環境区分線を 1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。取得位置は水際部環境区分を線データとして取得する。

③任意採集法区域

任意採集法の調査区域は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、取得位置は、任意採集法区域境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して区域を取得する。

④任意採取法以外の実施箇所

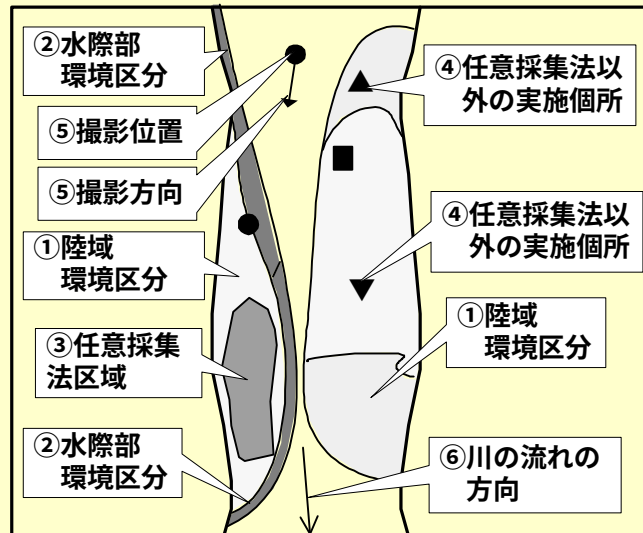
スウィーピング法、ビーティング法等の任意採集法以外の実施箇所は、1/2500 地形図（河道平面図等）に記入し、これをデジタイズする。また、実施箇所は、採集地点を点データとして取得する。

⑤撮影方向・位置

撮影方向と位置を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は方向を線データ、位置を点データとして取得する。

⑥川の流れの方向

川の流れの方向を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。
取得位置は流れの方向を線データとして取得する。



8. 河川調査

(1)河川調査総括図

水域、境界域、陸域、横断工作物の調査をそれぞれ点、線、ポリゴンとしてデータとして取得する。

①水域の調査

水域環境区分を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、水域環境区分境界線を線データとして取得し、これをポリゴン化して水域環境区分を取得する。

②境界域の調査

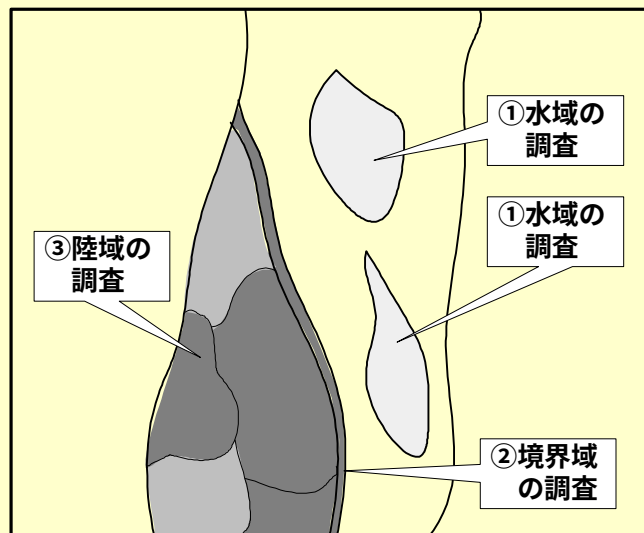
池、湧水及び流入支川・排水の分布、水際部環境区分を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は、池、湧水及び流入支川・排水の分布、水際部環境区分を線データとして取得後、ポリゴン化する。

③陸域の調査

植生分布を 1/2500 地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は植生分布境界線を線データとして取得後、ポリゴン化する。



9. 河川空間利用実態調査

(1) 河川利用施設

河川利用施設の位置を点データとして取得する。

① 河川利用施設位置

河川利用施設位置を1/25000地形図に記入し、これをデジタイズする。

取得位置は調査地区の中心点とする。

